

海 I
1
10

『ニューブリテン企業整理関係』

0269

海-0012

ニューブリテン
企業整理関係

257

ニューブリテン
企業整理関係

巻
25

海-0012

0270



東京 麹町區丸ノ内 芝丁目 貳番地
電報 電信 電名 略字 トウケウ タイキン
歐文 電信 電名 略字 Tainkeikwa Tokyo

南外第一六七號 昭和十九年十二月十四日 株式會社 臺灣銀行

南		方		政		務	

株式會社 臺灣銀行
南方部長 森 亮 太郎

海軍省南方政務部
堀 中 佐 殿

拜啓陳者 貴省人事局ヨリ送達賜リ候 弊行ラポール出張所ヨリ送附
ノ一件書類中 當行關係分 寫作成ノ上別紙ノ通り御參考迄御送附申
上候

本件書類送達ニ關シテハ 現地御當局並ニ貴省ノ特別ノ御配慮ヲ辱
フシ厚ク御禮申上候
尙南發關係書類ハ 南發本金庫へ送附致置候間御諒承被成下度候

敬 具

寫

昭和十九年八月一日

ラポール出張所文書人 別 府 建 一

頭 取 水 津 勘 吉 殿

書類一括送附ノ件

四月中旬以降ノ當行本部及南邊宛送書類ハ過日當地郵便所ヨリ發送不能ノ趣ヲ以テ全部返還セラレ吃驚ソノ處置ニ送ヒタリ之等發送文書ハ何レモ重要ナルモノノミナルカ就中當店業務閉鎖ニ關スル勘定整理ノ件南邊手持通貨掛分ノ件等ハ是非共東京本部ニ於テ處理セラレサルヘカラサルモノナルニ付何トカシテ送り届ケ度ク當方面監隊司令部ニ陳情懇願セル所事情ヲ諒トセラレ左記條件ヲ以テ軍部最重要書類ト共ニ空便アリ次第優先的ニ搭載方差許サレタリ

一、重量ヲ極度ニ軽減スル爲全部薄紙ヲ使用シ計表類ト雖モ所定用紙用式ヲ用ヒス薄紙ヲ以テ簡單ナル様式ニ改メ且餘白ヲ切り除クコト

三、送金関係案内書ハ一括一用紙ニ列記スルコト但シ店別ニ分類方許容サル

三、本部内各部宛書狀ハ頭取宛トシ本文ニ箇條書ヲ以テ要點ノミ列記通報シ置キ後便ヲ以テ各部長別ニ宛テ詳報スルコト

四、南邊宛書狀並ニ報告書類亦前項ニ同シ且之ヲ本狀ニ同封シ本部ヨリ同送セシムルコトソノ高カ量銀ニ必要ナラハ本部ヲシテトラシムルコト

就テハ右御諒承願度各部宛連絡事項トシテ左記要點ノミ列記セリ

◎検査役宛「重要書類等處分ノ件」

未使用小切手帳、監書類、送手旅行借用狀、電信暗語書規定書類機密書類、往復文書、ゴム印ハ抛却又ハ廢棄セリ明細書ハ後送ノ豫定ナリ
(七月二十二日付)

◎東京、人事庶務兩部長、東京支店支店人宛「職務整理資金口ノ件」
當店業務ハ五月末日付ヲ以テ閉鎖ノ上踏勘定ノ締切ヲナシタルカ整理不能ノ爲強存セル踏勘定ハ全部之ヲ東京支店へ移管シ以テ現金ノ手持ヲナササル事トセリ從ツテ今後ノ踏支拂即チ特當強存分(締切後)ノ

0272

當地拂行員五名ノ經費ヲ請フ必要上所要見込額金參千圓ヲ別紙案内書ノ通り東京支店勘定ヲ以テ渡番整理資金口トシテ假拂ヲ受ケタルカ本日迄ニ同封計算書ノ通り收支アリ最早繰キナキモノト認メ現存金三七八七圓二〇錢ヲ當地郵便所經由「東京支店」宛送金手續取計ヒタリ右案内書ハ同所ヨリ特別便ヲ以テ送附方依頼シ置キタルニ付貴地郵便局ヨリ案内アリタル節ハ計算書御参照ノ上夫々御整理願度ク郵便局ヨリ金額受領ノ件係員ニ付ニ御注意願フ（相當遅延ノ見込）

◎東京人事部長・庶務部長宛七月二十二日付「當店員給與ニ關スル件」當地ニ於テハ今後金繰使用ノ途ヲ從テ從前ノ如ク給與ノ當地支拂ヲ必要トセサルニ至リタルニ付當店員給與ハ六月分以降（五月分迄別表ノ通り支拂済）金額内地家渡御取計ヒ願フ、要込先從前通りナリハ但シ岩下清一書記ハ六月分當地支拂給與一四一圓及同七月分五九圓計二〇〇圓也本日當地支拂濟「前件添附表参照」ニ付七月分ハソノ差額八二圓ト昇給額及之ニヨル増停額八月以降ハ一四一圓ト昇給増停額ヲ從前分ニ加ヘ「東京支店內岩下清一普通貯金口」へ御振込願フ、尙同人ニ對スル六月渡季末慰勞金モ今回ハ當地ニテハ支給セス、各員ト

三

共ニ貴方御査定ニヨリ前記へ御振込願フ

◎東京人事部長宛六月二十七日付「當店業務閉鎖後ノ行員勤勞ノ件」當店業務ハ五月末日閉鎖シ引續キ週務整理ニ忙殺サルル傍ヲ去ル五月二日ヨリ開始セル南登手持通貨ノ處分ヲ續行シ居ルカ六月二十二日迄五十日間ヲ以テ續幣ノ繰繰ヲ了シ二十三日ヨリ渡部硬貨ノ運沒作業ニ取掛リ谷間ノ積穴掘ハ高二米奥行五米巾一米半）ニ三日間ヲ要シタリ運沒作業ハ後入便貨ヲ繰繰トシドラム繼ニ詰メ込ミ積穴ニ埋設スルモノニテ六月末迄ニ完了ノ豫定ナリ七月上旬ヨリ繰テ内命アリタル通り舊店員ハ方面總務司令附附ノ傳當地海軍病院へ送還サレ隨内勤務ハ事務トナル等

退伸八月一日今同國民政府方方面總務司令附附ノ傳特務部隊ナル名稱ヲ以テ舊警務署生直方面ニ活躍スルコトトナリ七月二十三日結成式ヲ舉行、部隊長タル長野可藏官ノ肝入ニテ當店員モ本部隊ニ編入サレ生直隊員トシテ郊外ノランブルプールニテ急作ニ協力スルコトトナリ既ニ三名從業中一同元氣旺盛ナリ、藤田資金部長へ御傳へ願フ長野一馬氏元氣ナル旨留守宅へ通知乞フハ同氏希望ニヨル



◎南方部長 宛 四月十八日付「當店閉鎖準備ニ關スル件」
當方面ノ概況ニ鑑ミ當店閉鎖モ時機ノ問題トシテ海陸軍部へ追會中ノ
處四月十五日海軍經理部長カ本件具體化ニ俟出サレ陸軍主計長代理及
陸軍主計部長ト相慮協議ヲ遂ケ中央へノ電請文案ヲ整ヘタリ、電文中
閉鎖時日ヲ四月末日トシタキコト、手持通貨ヲ當店自身カ處分スルコ
トノ困難ナルコトニツキ理由ヲ述ヘ詳細ニ努メタルモ結局承認サルル
所トナラス現地軍當局ノ命令ナラハ絕對ナリトノ見解ヲ持ツニ至リタ
ルナリ

電文次ノ通りニテ貴方ヘモ移離セラレタルコトト存ス

發信日附昭一六四一六 軍務局長宛 南東方面陸隊參謀長發

概況ニ鑑ミ陸軍ラポール出張所ハ日銀代理店南發支金庫ハ五月末閉
鎖シ所長以下五名便アリ次第内地ニ歸還セシメ度、尙同所三月末保有
通貨ハ邦貨約二千萬圓其他ノ通貨約一千二百萬圓ニシテ邦貨ハ海陸軍
各五百萬圓宛分額保有シ其ノ溢餘及其他ノ通貨ハ機宜處分ノ豫定ハ陸
軍側トモ打合濟)

◎經理部長宛 六月一日附「當店閉鎖ニ伴フ諸勅定整理ノ件」

五月末業務閉鎖ト共ニ諸勅定ノ締切ヲナシ強存勅定ヲ東京支店へ移管
セルカ右ニツキ事前貴方へ打合せスル餘裕モ方途モナカリシ事情御諒
察願フ、月表一部後送ノ外ナシ併而御承認願フ

◎資金部長宛「外國郵替出合取引書ノ件」

爲替持高ニ關スル諸報告書ハ後便ニヨルコトヲ餘儀ナクセラレタルニ
付南發トノ出合取引書ノミ同封本金庫へ轉送願フコトトセリ右銀約取
引ニヨリ當店預金ハ特當ト本支店爲況金圓口トハカパーサレ居ル
事ナリ御了承認願フ

◎南方部長 宛 六月一日付「當店業務閉鎖ニ伴フ諸勅定整理ノ件」

東京支店營業部支配人

未整理諸勅定ハ本日一應東京支店へ移管ノコトトシ別紙案内書ノ通り
付替タルニ付午御迷惑左記御留意ノ上可然取計方御協力願フ

ハ特別當座預金 内地歸還者ニシテ本預金通帳呈示ノ上強高ノ拂戻シ
ヲ請求シ來リタル者ニ對シテハ案内書添附明細表ニヨリ御支拂願フ
印鑑ハ當方保管中ハ一部郵送中紛失ニ付御面倒ナカラ本人承認願
フ



(二) 別段預金 案内書添附ノ往復文書御抄願フ

(三) 割引手形 (四) 金三、四〇〇圓東京支店宛代手一號、貴地日本共立興業會社ヨリ取立済ノコトト思ハル

(五) 金三、五〇〇圓南方部保管中ノ積買新聞社定期預金證券三萬圓ト相設方御交渉願フ、同社特派員派出席爲手八月三日期日二千圓九月五日期日五百圓正券二通茲許同封セリ尙五月五日付貸増セル特派員銀貨五百圓退却申請書並ニ御手回照票ハ後便ニ譲ルコトトセリ御答認願フ

○ 預金 當南發支金庫ニ對スル當店預金ハ當然貴地本金庫へ請求申付東京ニ支拂ヲ受クヘキモノト存セラルルニ付南方部御時旋ノ下ニ添附明細付替ノシート並ニ表ハ定期預金中既ニ期日経過セル分アリニヨリ適宜御取立願フ、南發支金庫ニ之等債權證券ハ郵送途上紛失ノ危險ヲ慮リ小役購還ノ簡易行スル豫付替ノシートニ定、右ニ請スル南發宛解狀同封シアリ御抄願乞フ

(六) 掛金 適當ノ時期ニ於テ本店へ御付替願フ 添附書類 添附定付替案内書五月末月表へ大藏省關係報告書ハ後便

ニヨル

(註) 外爲管理法關係諸月表、各郡宛月表、南發宛報告書、國庫事務諸證憑書類月末報告書ハ三、四、五月分共當方發送見込ナシ 三月末半季報告正券ハ返戻セラレタルモ副券貴着ノコトト思ハル

以上

0275

現況報告

台湾銀行 三木一太郎所

昭和 19年 5月 1日

(其一)

科目	金額	科目	金額	備	考
株主勘定		株主勘定		(各種勘定ノ主ナル増減理由)	(金融状況其他参考事項)
貸付金		銀行券			
利付爲替手形		日本銀行預金			
當座貸越		定期預金			
爲替當座前貸		當座預金			
コールローン		特別當座預金	2,877 193		
割引手形	2,740 7-	通知預金			
荷付爲替手形		別段預金	76 7-		
買入爲替		手形内入金			
別途貸付金		政府借入金			
代理貸付		借入金			
支拂承諾見返		コールマネー			
預金	576,446 5/8	再割引手形			
他店貸		別途貸付金見返			
本支店勘定		代理貸付保証			
有價証券		支拂承諾			
所有物		有價証券見返			
假拂金		他店借		(爲替持高)	
損益金		本支店勘定	573,698 4/8		
前期損益金		假受金			
地金銀		損益金	2,534 197		
保管金		前期損益金			
金銀在高					
合計	579,186 5/8	合計	579,186 5/8		
預金貸出金利率		貸付金		層口	
		利手		香港弗口	
		當座貸		内董口	
		割手			
		荷手			

(東計 81)

割 引 手 形 月 表

昭和十九年五月三十一日現在高

ラポール出張所

債 務 者	自 己 宛	備 考
讀賣新聞特派員 鹽川政市	£ 2,500.-/- [*]	(擔 保 定期預金證書 ¥30,000.00 南方部保管 無 擔 保
日本共立株式會社	£ 240.-/-	
計 二 口	£ 2,740.-/-	

※副爲替手形二葉添附



預ケ金明細表

5月31日現在

ラポール出張所

預ケ先	金額	摘要
南方開発金庫	£ 70,000.-/-	定期預金 No.6 due 19年 6/27
"	" 70,000.-/-	" " 7 " 8/3
"	" 80,000.-/-	" " 8 " 9/31
"	" 100,000.-/-	" " 9 " 10/21
"	" 50,000.-/-	" " 10 " 11/5
計	£ 370,000.-/-	
南方開発金庫	£ 1,446.5/8	當座預金
"	" 44,000.-/-	通知預金 No.63 預入日 19年 2/14
"	" 29,000.-/-	" 64 " 2/18
"	" 33,000.-/-	" 65 " 2/19
"	" 38,000.-/-	" 66 " 2/24
"	" 23,000.-/-	" 67 " 2/26
"	" 38,000.-/-	" 68 " 2/29
計	205,000.-/-	
總計	576,446.5/8	



預 け 金 月 表

昭和 19年 5月 31日 現在 残高

ラポール出張所

預 け 先	利 率	金 額	備 考
南發ニューブリテン支金庫	3.015%	£ 370,000.-/-	定期預金 5口
			80,000.-/- due 6/27
			70,000.-/- 8/31
			80,000.-/- 9/31
			100,000.-/- 10/21
			50,000.-/- 11/5
"	無	" 1,446.5/8	當座 "
"	6.03厘	" 205,000.-/-	通知 " 6口
			44,000.-/- 預入日 2/14
			29,000.-/- 2/18
			33,000.-/- 2/19
			38,000.-/- 2/24
			23,000.-/- 2/26
			38,000.-/- 2/29
計		576,246.5/8	
		370,000.-/-	



特別當座預金報告表

南方部御申

昭和十九年五月末現在高

ラポール出張所

姓 名	利率	金 額	姓 名	利率	金 額
46 金井倉太郎	5 rin	10.80	2a/o 4 高桑産業株式會社南花	1 d	1,074.7/4
79 大江康藏	"	1.10	44 36 中須資金一	"	1,079.11/3
118 渡部厚衛	"	2.45	55 沖第九八一部隊	"	1,579.13/5
128 蒲野聖治	"	3.35	6 30 木村茂	"	2.15/3
132 田中未治	"	60.00	25 竹中重昂	"	581.13/4
133 三代辰吉	"	605.90			2.15/8
134 齋藤守三	"	1.00	計 四 口		2,738.7/9
177 官本一登	"	10.65			
185 岡本康夫	"	10.40	合 計 十 九 口		2,877.10/3
190 高井廣康	"	10.00			
198 田島健吉	"	170.55			
205 藤本仁守	"	200.30	註(1) 本件東京支店へ移管済		
216 岸本守一郎	"	1.00	註(2) 二月二十七日利息決算済ナルモ其ノ後當地へ超非常状態		
219 安岡幸太郎	"	300.65	ニ陥リタルタメ利息ノ計上ヲ中止セリ御含置願フ		
221 永尾志免吉	"	3.05	(2) 引出ノ際特當通帳持参ナキ者ニ對シテハ支拂ヲ拒絶セラ		
計十五口		1,391.20	レ度		
		139.2/4			

*6/23當地ニテ支拂済

1,391.20
139.2/4

註(1) 本件東京支店へ移管済
註(2) 二月二十七日利息決算済ナルモ其ノ後當地へ超非常状態
ニ陥リタルタメ利息ノ計上ヲ中止セリ御含置願フ
(2) 引出ノ際特當通帳持参ナキ者ニ對シテハ支拂ヲ拒絶セラ
レ度



特別當座預金利息未記入(譯文)

昭和十九年五月末現在

ラポール出張所

決算日		元帳記號	通帳番號	姓 名	金 額	通帳記入口	
18	5	23	£ a/c	20	沖第九八一部隊 木村 茂	£	1 7/9
"	8	22	"	20	"	"	2 11/8
"	"	"	"	4	高桑産業株式会社ラポール出張所	"	4 11/-
"	"	"	"	25	竹 中 重 昇	"	9/7
19	2	27	£ a/c	46	金 井 倉 太 郎	£	8 15
"	"	"	"	79	大 江 康 藏	"	10
"	"	"	"	118	渡 部 厚 衛	"	1 05
"	"	"	"	128	蒲 野 盛 治	"	2 35
"	"	"	"	177	官 本 登 吉	"	65
"	"	"	"	133	三 代 辰 吉	"	5 65
"	"	"	"	185	岡 本 一 夫	"	40
"	"	"	"	198	田 島 健 吉	"	55
"	"	"	"	205	蔡 仁 德	"	30
"	"	"	"	219	安 岡 幸 太 郎	"	65
"	"	"	"	221	永 尾 志 龜 吉	"	1 50
"	"	"	£ a/c	4	高桑産業株式会社ラポール出張所	"	9 9/-
"	"	"	"	6	南花茶苑代表者 中須賀金一	"	3 19/5
"	"	"	"	20	沖第九八一部隊 木村 茂	"	5 7/7
					£ a/c	£	27 16/6
					£ a/c	£	21 35

19 6 22

0281

預金報告表 (別段)

昭和十九年五月三十一日現在残高

ラポール出張所

姓 名	預り年月日	期日又へ期間	利 率	金 額
沖第九八一一部隊 陸軍主計中尉 深見喜雄	18.6.22.		nil	<u>£ 76.-/-</u>
註 本件東京支店へ移管済				<u>£ 76.-/-</u>



東京支店 御中

貸借表 金 額 簿

臺灣銀行ヲ水一ノ銀座所

年月日	付借番號	振込摘要	依頼人	金額	備考
5月 31	38	購買汽船株式会社へ 御拂込願フ	購買汽船株式会社 副所長 河野一	5,196.40	河野一外三生活費(付借金票 當地勤新八ヶ月) (付借金票 正送済)
" "	39	本澤経普通貯金口座 御開設願フ	本澤 輝	1,021.50	持借金 } 付借金票 印借添付 } 送済済 and 1/2 date 送済済
" "	40	藤岡武夫普通貯金口座 御開設願フ	藤岡 武夫	764.75	持借金
" "	41	購買本重株式会社東京事務 所へ御拂込願フ	購買本重株式会社 所長 町井吾六	472,600.00	送借許可附
" "	42	別府松枝特當口座へ	別府 建一	1,000.00	三生活費
" "	43	東藤步少特當口座へ	東藤 一郎	500.00	三月份生活費
" "	44	土屋源市特當口座へ	土屋 清	500.00	三月份生活費
" "	45	南洋拓殖株式会社東京事務 所へ御拂込願フ	南洋拓殖株式会社 理事 中 權 正 志	9,471.90	公 金
4月 7	1	大川勝子特當口座へ	大川 恭 男	500.00	四月份生活費
" "	2	長谷川本四郎普通貯金口座 御開設願フ	長谷川 本四郎	522.95	持 借 金
29	3	購買東京市建設興業銀行内 務二會係東京支店會計多事 務課へ御拂込願フ	第八海軍軍需部特別 酒保委員 購買主任中尉 大島民夫	510,400.00	公 金
5月 5	4	小川将男普通貯金口座 御開設願フ	小川 将 男	2,042.95	自十二月至五月生活費
" "	5	田中高光治普通貯金口座 御開設願フ	田 中 高 光 治	1,691.30	印 借 添 附
" "	6	純子醤油株式会社田中高光治 普通貯金口座御開設願フ	純子醤油株式会社 方工場 田中高光治	432.30	印 借 添 附
" "	7	遠藤 善 少 特當口座へ	遠藤 善 少 民政 部 大 河 原 良 雄	9,939.05	復金整理ノタメ 印 借 添 附 金
" "	8	岩 下 清 八 特當口座へ	岩 下 清 一	500.00	四月份生活費
" "	9	坂 和 一 郎 普通貯金口座 御開設願フ	坂 和 一 郎	700.00	三 四 月 分 生 活 費
" "	10	別 府 建 一 特當口座へ	別 府 建 一	200.00	持 借 金 印 借 添 附
" "	11	南洋興業株式会社 東京事務所へ御拂込願フ	南洋興業株式会社 チハチ島事務所	500.00	五 月 分 生 活 費
" "	12	五十嵐直藏普通貯金口座へ	五十嵐直藏 大 河 原 良 雄	401,671.90	送金許可附添附
" "	13	大 川 勝 子 特當口座へ	大 川 恭 男	4,668.00	公 金
" "	14	宮坂喜久松普通貯金口座 御開設願フ	宮坂喜久松	500.00	五 月 分 生 活 費 持 借 金 印 借 添 附
	合 計		25 口	1,225,821.80	

東京支店 御中 Advice Sheet 〆水一ル

Dr. 19.5.31 Cr.

〆水一ル
五月分國許送金戻入
別府主事外四名
¥ 2,350.00

東京支店 御中 Advice Sheet 〆水一ル

Dr. 19.4.21 Cr.

〆水一ル
四月分國許送金戻入
別府主事外四名
¥ 2,350.00

海-0012

0284

振 替 送 金 報 告 書

東京支店 御中

臺灣銀行ヲポール出張所

仕向年月日	番 號	拂 込 人	名 宛 人	名宛人住所	金 額	備 考
4 月1 日	振c/n 11	森 藤 蓋 松	森 藤 操 子	埼玉縣入間郡 豊田町黒須	545.00	二三月分生活費
"	" 12	百 名 勲 成	百 名 純 子	東京都杉並區 阿佐ヶ谷一ノ七九〇	250.00	"
5 月19 日	" 13	三 田 滋	鈴木新之助	東京都品川區 五反田三ノ八二	655.80	持 歸 金
31 日	" 14	栗 原 敬 男	栗 原 壽	東京都八王子市 臺町一七五	150.00	五月分生活費
"	" 15	長谷川 正	長谷川貞子	千葉縣長生郡 八積村金田	200.00	"
"	" 16	松 田 清	西 幹 和 夫	東京都四谷區 坂町二二六	600.00	四五月分生活費
"	" 17	小 林 光 雄	小 林 一 平	長野縣諏訪郡 原村松澤	350.00	五月分生活費
			合 計	七 口	2,750.80	

D

0285

海-0012

昭和十九年四月一日

南洋興發株式会社

ラバウル事業所長 中村 泰三

ニューブリテン民政部長殿

資金送金許可願

今般軍令ニヨリ弊事業所事業へ總テ軍ニ引繼キ内地引揚ノコトト相成候ニ就テハ現在手持資金左記金額内地送金致度候條御許可被成下度及御願候也

記

一金四拾萬壹千六百七拾壹圓九拾錢也

追而右金額ハ弊所賣店蒔菜園榨油工場並ニ椰子園ノ收入ヨリ各々所要經費ヲ差引タル殘及ヒ商品仕入資金ノ一部各事業ニ必要ナル機械器具ノ買入資金社員ノ赴任旅費並ニ家族送金等ヲ内地資金ヲ

以テ賄ヒタル結果ニ基クモノニ有之候

終

右許可ス

昭和十九年四月一日

ニューブリテン民政部長 印

付 替 送 金 報 告 書

大 阪 支 店 御 中

臺灣銀行ヲホール出張所

仕 向 年 月 日	付 替 番 號	振 込 摘 要	依 頼 人	金 額	備 考
4 月 14	1	奥村部隊 中村幸男 普通貯金口御開設願フ	奥村部隊 中村幸男	134,356.65	公 金 無利息口 印鑑添附
"	2	奥村部隊嗜好糧食委員 中村幸男普通貯金口 御開設願フ	奥村部隊嗜好糧食 委員 中村幸男	10,700.00	公 金 無利息口 印鑑添附
"	3	奥村部隊酒保委員海軍主計兵 曹長 日田未吉 普通貯金口御開設願フ	奥村部隊酒保委員 海軍主計兵曹長 日田未吉	9,060.70	公 金 印鑑添附
30	4	羽根木英純 普通貯金口御開設願フ	羽根木英純	533.75	三四月分 付替送金票 生活費 original 發送済
		合 計	四 口	154,651.10	

海-0012



大阪支店 御中 振替送金報告書

臺灣銀行ラポール出張所

仕向年月日	番 號	拂 込 人	名 宛 人	名 宛 人 住 所	金 額	備 考
4月 14 日	5 ^{o/n}	狩野四郎	狩野勝三	京都市上京区 今左川寺町西入上ル	370.75	
21 日	6"	渡邊守夫	渡邊芳子	大阪府北河内郡 守口町櫻町三〇六	100.00	自一月至四月生活費
•	7"	本多修二郎	本多文子	長崎市小川町三二	1,600.00	•
•	8"	渡邊守夫	伊藤清蔵	熊本縣玉名郡春富村 大字中和仁	100.00	•
5月 31 日	9"	加藤政美	加藤政一	三重郡三重郡鵜川 原村大字下鵜川原一六七九	100.00	五月分生活費
•	10"	田代恒助	田代香松	和歌山縣東牟婁郡 大島村	700.00	四五月分 •
				六 口	2,970.75	乍御手數田代恒助氏(民政部囑託) 御守宅へ同氏元氣ナル旨御傳へ願フ 8月27日(同氏希望ニヨル) 別府建一

海-0012



付 替 送 金 報 告 書

横 濱 支 店 御 中

臺灣銀行ラポール出張所

仕 向 年 月 日	付替番號	振 込 摘 要	依 頼 人	金 額	備 考
4月 14	2	桂田敬治郎普通貯金口へ御 拂込願フ	桂 田 利 男	100.00	付替送金票 四月分生活費 Duplicate 發送済
"	3	村井貞之助普通貯金口へ御 開設願フ	村 井 貞 之 助	875.70	持 露 金 印 鑑 添 附
5月 31	4	山本準一特當口へ御拂込願 フ	山 本 準 一	300.00	五月分生活費
"	5	桂田敬治郎普通貯金口御拂 込願フ	桂 田 利 男	300.00	五月分生活費
"	6	山本準一特當口へ御拂込願 フ	大 川 泰 男	536.00	三 四 月 分 生 活 費
		合 計	五 口	2,111.70	

海-0012



振込送金報告書

神戸支店 御中

臺灣銀行ラホール出張所

仕向年月日	番 號	拂込人	名宛人	名宛人住所	金 額	備 考
5月31日	振 ^{o/n} 2	別府建一	別府ヨシ	山口市糸米辻丸 清水裕方	1,500.00	四五月分生活費

海-0012

0290

振替送金報告書

函館出張所 御中

臺灣銀行ラポール出張所

仕向年月日	番 號	拂 込 人	名 宛 人	名 宛 人 住 所	金 額	備 考
5月 31日	振替 o/n 1	岸 本 辰 雄	岸 本 定 士	札幌市圓山北町六六	300.00	四月分生活費

海-0012

0291

臺北本店 御中

Advice Sheet

ラポール

12.4.1

ラポール
昭和十八年下期
純 益 金

¥ 48,714.00

海-0012

0292

臺北本店 : Advice Sheet ラボール
19.4.21.

ラボール
四月分現金取扱者
責任積立金
大川書記以下四名
¥ 35.00

臺北本店 Advice Sheet ラボール
Dr 19.5.31 Gr

ラボール
五月分現金取扱者
責任積立金
大川書記以下四名
¥ 35.00

四月分現金取扱者
責任積立金受入報告書

19.4.21

ラボール出張所

職名	姓 名	受 入 高
書記	大 川 泰 男	20.00
・	岩 下 清 一	5.00
・	遠 藤 一 郎	5.00
・	土 屋 清	5.00

五月分現金取扱者
責任積立金受入報告書

19.5.31

ラボール出張所

職名	姓 名	受 入 高
書記	大 川 泰 男	20.00
・	岩 下 清 一	5.00
・	遠 藤 一 郎	5.00
・	土 屋 清	5.00

付 著 送 金 報 告 書

臺北本店 御中

臺灣銀行ヲポール出張所

仕向 月日	付 番 號	振 込 摘 要	依 頼 人	金 額	備 考
4月 30	1	奉行團長 長瀧武俊 普通貯金口座開設願フ	長瀧武俊	16,784.70	甲 慰 金 別紙人名簿添附 五七名分 印 鑑 添 附

振 著 送 金 報 告 書

臺北本店 御中

臺灣銀行ヲポール出張所

仕向年月日	番 號	振 込 人	名 宛 人	名 宛 人 住 所	金 額	備 考
3月 19日	振 4 ^{o/n}	長瀧武俊	町 田 千 苗	臺北市新起町二 岡本鹿吉方	1,000.00	一、二月分生活費

海-0012

0294

東京支店 御中

Advice Sheet

ラポール出張所

Dr.

19.5.31.

Or.

金額	摘要	摘要	金額
3,000.00	ラポール 当店残高整理 資金口		

海-0012

0295

東京支店 御中

Advice Sheet

ラポール出張所

金額	摘要	摘要	金額
	ラポール 当店割手整理口へ £ 2,740.-/- 当店預ヶ金整理口へ £576,446.5/8 内 譯 定期 £370,000.-/- 普通 £ 1,446.5/8 通知 £205,000.-/-	ラポール 当店特當整理口へ £ a/c £2,738.7/9 ¥ a/c 当店別段整理口へ £ 76.-/- 当店損益金整理口へ £2,534.10/7	¥1,391.20

海-0012

0295

當店殘務整理資金口收支明細表

東京支店 御中

19 年 7 月 22 日

臺灣銀行ラポール出張所

月 日	受入金額	摘 要	月 日	支拂金額	摘 要
5 31	3,000.00	東京支店勘定トシテ當店 殘務整理資金受入 (アドバイス参照)	6 22	200.30	特當殘高拂出 蔡仁德(請求書添付) 當店特當整理口ヨリ拂出願フ
6 3	150.00	割手割引料 元金2,000.-/- 期日8/3 2ヶ月 4.5%	7 22	200.00	手 當 岩下清一書記 六月分當地拂141圓(£142/-) 七月分當地拂給與ノ内 59圓 (£5.18/-) ヲ以テ充當 當店損益整理口ヨリ拂出願フ
" "	37.50	£ 500.-/- "9/-" " 鹽川政市(讀賣新聞特派員) 當店損益金整理口へ受入願フ			
	3,187.50	合 計 差引送金額		400.30 2,787.20	
	3,187.50	總 計 差引送金額ハ當地海軍々用十二郵便所經由貴店宛 送金済ニ付御入手ノ上ハ當店 a/o 決済願フ		3,187.50	

海-0012

0297

解約（再製）

請求書

金貳百圓參拾錢也

（支拂済ノ行印アリ）

右金額拙者特別當座預ケ金ノ内ヨリ別冊通帳ヲ以テ支拂相成度請求候也

昭和十九年六月二十二日

（印鑑照合済）

蔡 仁 徳 印

臺灣銀行 御中

（本傳票ハ郵送事故ニヨリ紛失）

カツコ内（別府氏註記ナリ）

昭和十九年六月一日

ラポール出張所

東京支店預金係

御中

別紙寫ノ通り名義變更方申出アリタルカ新名義人ノ印鑑用紙懸附無
之目下沖第九八一一部隊ニ對シ直接貴方へ送附方依頼中ナリ

以上

昭和十九年六月八日

臺灣銀行ラポール出張所

東京支店支配人殿

沖第九八一一部隊

（ 經理 部長 殿 ）

前便ニテ御通知申上ケタル通り當出張所へ五月末ヲ以テ業務ヲ停止
仕候就而左記預金

特別當座預金 金五八^〇磅拾參志四片

沖第九八一一部隊陸軍主計大尉 木村 茂

別 段 預 金 金七拾六磅也

陸軍主計中尉 深見善雄

ヲ弊行東京支店ニ移管致置候處五月九日付貴行ヲ以テ陸軍主計大尉
木村茂殿名義ノ特別當座預金ヲ弊行東京支店ノ預金トシ名義ヲ沖第
九八一一部隊西村忠一殿ニ變更方申出有之候處新名義人西村忠一殿

ノ印鑑御届無之候間同封印印鑑用紙ニ記名捺印ノ上直接弊行東京支店
へ御送附相煩度願上候

尙陸軍主計中尉深見善雄殿名義ノ前記別段預金へ昨年六月二十二日
弊行東京支店ヨリ送金有之候ノモノナルカ右ニ關シ受取人ヨリ何等
ノ御指圖ナキ爲便宜前記ノ通り別段預金トシテ整理致候モノナルニ
付本件處置ニツキテモ前同様弊行東京支店へ何分ノ御指圖賜度併而
御依頼申上候

以 上

0299

沖集經主第

號

銀行預金拂出ノ件回答

昭和十九年五月九日

沖第九八二部隊經理部長 室田 五郎

沖第九八二
部隊經理
部長之印

鐵道銀行ラボール出張所長殿

營部陸軍主計大尉木村茂名義預金五七二磅餘ニ關シ貴所引揚ケノタ
メ四月二十日迄ニ預金引出ノ四月十日附通報昭和十九年五月八日入
手既ニ貴所モ引揚ケラレシコトト思考又引揚準備中トスルモ營部現
況ニテハ引出不能ニ付貴行東京所在ノ支店等ニ營部預金トシテ整理
スル如ク取計相煩度尙名義人木村茂ハ既ニ召集解除歸郷致シ居ルニ
付出來得レハ沖第九八二部隊西村忠一ニ變更セラレ度

預金名義變更ノ件届

昭和十九年五月九日

沖第九八二部隊經理部長 室田 五郎

鐵道銀行ラボール出張所長殿

沖第九八一部隊陸軍主計大尉木村茂名義ニテ貴所ニ預金中ノ五七
二磅餘ハ名義人召集解除ニ伴ヒ左記ノ如ク變更相成度

左記

舊名義人 沖第九八一部隊陸軍主計大尉 木村 茂
新名義人 沖第九八一部隊 西村 忠一

0300

證

一 金貳百圓也

但六月分給料金壹百四拾壹圓也及

七月分給料ノ内金五拾九圓也

右正ニ領收候也

昭和十九年七月二十二日

ラポール出張所勤務

書記 岩下清一

右代理人 土屋清一

(本人ランブルプールニテ作業中ニ付)

臺灣銀行

御 中

資金部 御中

Monthly Exchange Balance

昭和十九年三月三十一日

ラポール出張所

仕向別	買 持		賣 持		買 残	高		損 益
	先方通貨	當方通貨	先方通貨	當方通貨		先方通貨	當方通貨	
日本向								
預金勘定			1,380,833.90	138,083.7/8				
本支店為戻			4,524,899.11	452,489.8/8	5,905,733.01	590,573.6/-		
豫 約	6,279,729.86	627,972.19/7	375,996.85	37,399.13/7	5,905,733.01	590,573.6/-		0
合 計	6,279,729.86	627,972.19/7	6,279,729.86	627,972.19/7	0	0		0

昭和十九年四月三十日

日本向								
預金勘定			298,005.74	29,800.11/5				
本支店為戻			5,069,394.31	506,939.8/8	5,367,400.05	536,740.-/-		
豫 約	6,824,225.06	682,422.10/1	1,456,885.01	145,682.10/1	5,367,400.05	536,740.-/-		0
合 計	6,824,225.06	682,422.10/1	6,824,225.06	682,422.10/1	0	0		0

昭和十九年五月三十一日

日本向								
預金勘定			1,391.20	139.2/4				
本支店為戻			5,498,815.61	549,881.11/1	5,500,206.81	550,020.13/6		
豫 約	7,256,646.36	725,664.12/7	1,756,439.55	175,643.19/1	5,500,206.81	550,020.13/6		0
合 計	7,256,646.36	725,664.12/7	7,256,646.36	725,664.12/7	0	0		0

海-0012



本支命庫間外國為替出合 又 野高

南方開發金庫 御 中

昭和19年3月31日

受渡期日

昭和19年9月30日

當方買 (賣方賣)

南方開發金庫ニューブリテン支金庫

取引店	為替金額	換算率	磅 額	政府補償料		備 考
				料率	金額	
3/19	5,196.40	C 10	519.12/8			
3/31	18,753.50	"	1,875.7/-	無	シ	送 金 (顧客)
"	16,443.00	"	1,644.8/-	"	"	預 金 (公金)
"	489,242.95	"	48,924.5/9	"	"	" (顧客)
"	5,750,094.01	"	575,009.8/-	"	"	送 金 ()
	6,279,729.86		627,972.19/7			豫約相殺差額乗替 (銀行 a/c)

當方賣 (賣方買)

取引日	為替金額	換算率	磅 額	政府補償料		備 考
				料率	金額	
3/31	371,677.85	C 10	37,167.15/7	無	シ	預 金 (顧客)
"	2,319.00	"	231.18/-	"	"	銀行 a/c (付替分取消)
	373,996.85		37,399.13/7			

本支金庫間外国為替出合取引高

南方開發金庫 御 中 昭和19年4月30日

當方買(賣方賣) 受渡期日 昭和19年9月30日

南方開發金庫ニューブリテン支金庫

取引日	為替金額	換算率	磅 額	政府補償料		備 考
				料率	金額	
4/1-4/30	493,396.20	10	49,339.12/4	無	シ	送 金 銀 行 a/c 果 計 = 6,824,225.0 ⁶
	51,099.00	"	5,109.18/-			
	544,495.20		54,449.10/4			

當方賣(買方買)

取引日	為替金額	換算率	磅 額	政府補償料		備 考
				料率	金額	
4/7-4/30	1,082,825.16	10	108,282.16/3	無	シ	預 金 果 計 = 1,456,825.01

海-0012

0304

本支金庫間外国為替出合取引高

南方開發金庫 御 中

昭和19年 5月 31日

受渡期日 昭和19年 9月 30日

當方買(貴方賣)

南方開發金庫ニューブリテン支金庫

取引日	為替金額	換算率	磅 額	政府補償料		備 考
				料 率	金 額	
5/5-5/31	450,036.50	10	43,003.12/6	無	シ	送 金 銀行勘定
	2,385.00		238.10/-			
	432,421.50		43,242.2/6			
						果 計 7,256,646.36

當方賣(貴方買)

取引日	為替金額	換算率	磅 額	政府補償料		備 考
				料 率	金 額	
5/5-5/31	298,614.54	10	29,661.9/1	無	シ	預 金 銀行勘定
	3,000.00		300.-/-			
	299,614.54		29,961.9/1			
						果 計 1,756,439.55



経費内訳

マボール出張所

科目	三月分		四月分支拂高	五月分支拂高	四五月分累計	備考
	支拂高	累計				
給料						
行員、準行員	59 18/-	372 6/-	59 18/-	59 18/-	119 16/-	
備員		51 4/6				
小計	59 18/-	423 10/6	59 18/-	59 18/-	119 16/-	
手當						
行員 在勤手當	309 -/-	1,869 -/-	309 -/-	309 -/-	618 -/-	
準行員 家族	6 -/-	37 -/-	5 10/-	5 10/-	11 -/-	
出納	310 -/-	21 -/-	3 10/-	3 10/-	7 1/-	
同季末慰勞金	23118/-	33 8/-				
備員手當		8 8/-		備員退職包金		
小計	318 10/-	1,968 16/-	318 -/-	325 -/-	643 -/-	三月分更正額控除 陳阿和 5.-/ 國振 2.-/-
營業費		4615/-				
總計	378 8/-	2,439 1/7	37718/-	38418/-	76216/-	
(營業費内譯)						
器具		2116/-				營業費内譯内容へ二月 分參照願フ
文房		18/7				
消耗品		4 9/5				
圖書		9/-				
臨時手當		1010/-				
臨時		811/9				
		4615/1				

自三月至五月

諸給與内訳表

ラボール出張所

職	姓名	給料		手當			計	備考
		圓額	換算額	在勤手當	家族手當	出納手當		
主事 書記	別府建一	249.00	24.18/-	70.-/- 15.-/- 98.-/-	3.-/-		140.18/-	3.4.5月分同額
	大川泰男	117.00	11.14/-	50.-/- 60.-/-	1.-/-	20.-/- 2.-/-	72.14/-	
	岩下清一	91.00	9.2/-	58.-/-		10/- 5.10/-	59.2/-	3月分家族手當 27 4月 5月分同額
	遠藤一郎	90.00	9.-/-	40.-/- 50.-/-	1.10/-	5.10/-	60.10/-	
	土屋清	52.00	5.4/-	30.-/- 36.-/-		5.-/- 10/-	41.4/-	3.4.5月分同額
	計	599.00	59.18/-	235.-/- 309.-/-	5.10/-	35.00 3.10/-	374.8/-	4月5月同額 3月分

(註)

五月末日手當科目ヲ以テ備員退職包金下記ノ通り支給セリ

5/31	陳阿和	5.-/- (¥50.-)
"	國振	2.-/- (¥20.-)
	計	7.-/- (¥70.-)



株式会社東京海上火災保険株式会社の出展所月報報告書

昭和十九年四月三十日

東京海上出展所

貸方		借方	
種	計	種	計
現金	51,352.18/8	現金	76,707.13/7
債権	120,729.12/2	債権	105,817.7/6
		債権	1,023.6/7
		債権	128,060.12/5
		債権	224,546.19/8
		債権	1,023.6/7
		債権	2,000.-/-
		債権	161,065.17/-
		債権	530,756.2/2
		債権	2.-/6
		債権	1,748.8/8
		債権	4,871.8/-
		債権	1,054,074.15/6
合計	2,108,149.11/2	合計	2,108,149.11/2

昭和十九年四月三十日

損益勘定内訳明細表

東京海上出展所

貸方		借方	
種	計	種	計
利息	59.18/-	利息	1,731.16/3
手数料	318.-/-	手数料	15.14/9
		手数料	15.14/9
		手数料	17/6
		手数料	1,748.8/8
		手数料	1,748.8/8
合計	1,748.8/8	合計	1,748.8/8

株式会社臺灣銀行ヲボテノ出張所毎月實際報告表

昭和十九年五月三十一日

ヲボテノ出張所

借方	貸方		借方
	總計	高	
220,714.14/6			220,714.14/6
222,200.13/8	2,877.10/3		225,078.5/9
947.6/7	76.-/-		1,023.6/7
4,740.-/-		2,000.-/-	2,000.-/-
941,062.1/2		364,615.15/4	576,446.5/8
			573,998.4/8
300.-/-	573,698.4/8		2.-/6
2.-/6			2.-/6
766.17/-	2,534.10/7		3,301.7/7
4,871.8/-		4,871.8/-	4,871.8/-
1,395,605.1/7		1,395,605.1/7	1,395,605.1/7
			579,186.5/8
2,791,210.3/4	579,186.5/8	2,791,210.3/4	
			總計

50300

損益勘定内詳細表

昭和十九年五月三十一日

ヲボテノ出張所

借方	貸方		借方
	總計	高	
4.1/-		3,280.9/8	3,280.9/8
		19.9/9	19.9/9
119.16/-		1.8/-	1.8/-
643.-/-			
			3,301.7/7
766.17/-	766.17/-		3,301.7/7
2,534.10/7	2,534.10/7		3,301.7/7
3,301.7/7	3,301.7/7		3,301.7/7
			合計

本支店勘定元帳
(先方勘定)

年月日	摘要	借方	貸方	残高	出張所
19. 5. 31	總勘口へ 普通特當整理口へ		23,599.1/4	貸 23,599.1/4	
" 6. 1	別段		2,738.7/9		
" " "	割手	2,740.-/-	78.-/-		
" " "	損入金		2,534.10/7		
" " "	預入金	578,446.5/8		借 550,238.5/8	
" " "	合本日残高計	579,186.5/8	28,948.-/- 550,238.5/8		
" " "	總本日残高計	579,186.5/8	579,186.5/8		
(相手店) ウエラク					ラボール出張所
19. 5. 31	繰越		217.12/2	貸 217.12/2	

0310

新 理 部 御 中
(相手店)日本各店

本 支 店 勘 定 元 帳
(當 方 勘 定)

多 水 一 丸 出 張 所

年月日	摘 要	借 方		貸 方		ハ借 貸又	残 高	
		先 方 通 貨	當 方 通 貨	先 方 通 貨	當 方 通 貨		先 方 通 貨	當 方 通 貨
19.2.29.	繰 越			4,032,778.76		貸	4,032,778.76	403,277.17/5
3.19.	東京 O/N 38			5,196.40		貸	4,037,975.16	403,797.10/3
3.31.	" " 40			764.75				
" "	" " 39			1,021.30				
" "	" " 41			472,600.00				
" "	臺北 三月初現金取扱各預立金			55.00				
" "	東京 三月份通許送金戻入			2,350.00				
" "	東京 4部 19/10 倉本送金戻入	971.00						
" "	別府 主筆分	1,348.00						東京來狀ニヨリ12/16日分 (1/12日分)
" "	東京 O/N 45			9,471.90				
" "	" " 42			1,000.00				
" "	" " 43			500.00				
" "	" " 44			500.00				
" "	神戸 L.O/N 15			1,000.00				
" "	東京 8/31-2/29	7,854,513.85						
" "	對南發外爲豫約相殺		785,451.77	2,104,419.84				
" "	同上相殺差額乗換			5,750,094.01		貸	4,524,899.11	452,489.18/2
	合 計	7,854,513.85	785,451.77	12,381,731.96	1,238,173.39			
		2,319.00	231.18/4					
	合 計	7,856,832.85	785,683.57	12,381,731.96	1,238,173.39			
	後 期 繰 越 計	4,524,899.11	452,489.18/2					
	總 計	12,381,731.96	1,238,173.39	12,381,731.96	1,238,173.39			



19年上半分

本支店勘定元帳

年月日	摘要	借方		貸方		借又 ハ貸	種高	
		先方通貨	當方通貨	先方通貨	當方通貨		先方通貨	當方通貨
19. 4. 1	前期繰越			4,524,899.11		貸	4,524,899.11	452,489.18/2
" " "	臺北本店18/下純益金			48,714.00				4,871.8/-
" " 7	東京 L C/N 1			300.00				30.-/-
" " "	大阪 " 1			900.00				90.-/-
" " "	" " 2			80.00				8.-/-
" " "	東京 " 2			570.75				57.1/5
" " "	" " 3			251.15				25.2/3
" " "	" " 4			69.95				6.19/9
" " "	" " 5			20.55				2.1/1
" " "	" " 6			1,092.10				109.4/2
" " "	" " 7			300.80				30.1/6
" " "	" " 8			365.00				36.10/-
" " "	" " 9			170.00				17.-/-
" " "	大阪 " 3			170.20				17.-/4
" " "	" " 4			400.00				40.-/-
" " "	神戸 " 1			25.00				2.10/-
" " "	大阪 " 5			370.75				37.1/5
" " "	横浜 C/N 1			300.00				30.-/-
" " "	" " 2			100.00				10.-/-
" " "	東京 " 1			500.00				50.-/-
" " "	" " 2			522.95				52.5/9
" " "	大阪 " 1			134,356.65				13,435.13/3
" " "	" " 2			10,700.00				1,070.-/-
" " "	" " 3			9,060.70				906.1/4
" " "	横浜 " 3			875.70				87.11/4
" " "	東京 L C/N 10			20.00				2.-/-
" " "	臺北本店 " 1			1,560.50		貸	4,736,695.86	473,669.11/7
" " 21	東京 L C/N 11			545.00				54.10/-
" " "	" " 12			250.00				25.-/-
" " "	大阪 " 7			1,600.00				160.-/-
" " "	" " 6			100.00				10.-/-
" " "	" " 8			100.00				10.-/-
" " "	臺北本店 四月分現金取扱者 貸付積立金			35.00				3.10/-
" " "	東京支店 四月分國許送金			2,350.00				235.-/-
" " 28	東京 C/N 3			310,400.00				31,040.-/-
" " 30	臺北本店 " 1			16,784.70				1,678.9/4
" " "	大阪 " 4			533.75		貸	5,089,394.31	508,939.8/6
" " 5. 5	東京 " 4			2,042.95				204.5/9
" " "	" " 5			1,691.30		貸	5,073,560.86	507,356.1/7
" " "	" " 6			432.30				43.4/6
" " 19	臺北 L C/N 4			1,000.00				100.-/-
" " "	東京 " 13			655.80				65.11/6
" " 31	東京支店 残務整理資金口	3,000.00						
" " "	函館 L C/N 1		300.-/-					
" " "	大阪 " 6			300.00				30.-/-
" " "	" " 6			100.00				10.-/-



本支店勘定元帳

年月日	摘要	借方		貸方		借又 へ貸	種高		
		先方通貨	當方通貨	先方通貨	當方通貨		先方通貨	當方通貨	
19. 5. 31	大阪 L C/N 7			700.00	70	-/-			
" " "	東京 " 14			150.00	15	-/-			
" " "	" " 15			200.00	20	-/-			
" " "	" " 16			600.00	60	-/-			
" " "	" " 17			350.00	35	-/-			
" " "	" C/N 6			9,938.05	993	16/1			
" " "	" " 7			500.00	50	-/-			
" " "	" " 9			200.00	20	-/-			
" " "	" " 12			4,668.00	466	16/-			
" " "	" " 13			500.00	50	-/-			
" " "	" " 14			500.00	50	-/-			
" " "	横浜 " 4			300.00	30	-/-			
" " "	" " 5			300.00	30	-/-			
" " "	" " 6			536.00	53	12/-			
" " "	神戸 L C/N 2			1,500.00	150	-/-			
" " "	東京 C/N 8			700.00	70	-/-			
" " "	" " 10			500.00	50	-/-			
" " "	" " 11			401,671.90	40,167	3/6			
" " "	森北五月分現金取扱者 責任積立金			35.00	3	10/-			
" " "	東京五月分割許送金			2,350.00	235	-/-	貸	5,498,815.61	
	合計	3,000.00	300	-/-	5,501,815.61	550,181	11/2		
	本日残高	5,498,815.61	549,881	11/2					
	總計	5,801,815.61	550,181	11/2	5,501,815.61	550,181	11/2		
(日本支店) 店舗閉鎖後東京支店へ移管									
19. 5. 31	繰越(伊領勘定)						貸	5,498,815.61	549,881.11/2
" 6. 1	東京當座特當整理口へ			1,391.20	139	2/4		5,500,206.81	550,020.13/6
	合計				5,500,206.81	550,020	13/6		
	本日残高	5,500,206.81	550,020	13/6					
	總計	5,500,206.81	550,020	13/6	5,500,206.81	550,020	13/6		



南外第八八四號

昭和十九年八月八日

株式會社 臺灣銀行



東京市丸の内區丸の内壹丁目貳番地
和文電報掛名略字 トウケウ タイキン
歐文電報掛名略字 TAIWANEIKIN Taipei

株式會社 臺灣銀行
南方部長 森 亮太郎

海軍省南方政務部
堀 少佐

殿

拜啓陳者弊行ラポール出張所ニ於ケル諸勘定明細書別紙ノ通り御送付申上候
尙右明細書ハ二月末日現在ノモノニシテ其後三月末日現在現況報告ハ既ニ御送付申上タル通りナルモ明細書等未タ送付無之候條御諒承被下度候
敬具

海-0012

0314

10 (15-12)

預金月表

昭和19年2月29日現在残高

ラポール出張所

支配人 係

預 け 先	利 率	金 額	備 考
ニューブリテン支金庫	3.015%	£ 370,000.-/-	定期預金5口 230,000 100,000 4/19
"	nil	£ 847.18/1	當座預金 80,000 5/4 70,000 6/27 70,000 6/5
"	6.03rin	£ 541,000.-/-	通知預金16口
		£ 911,847.18/1	235,000 243,000 75,000 24,000 29,000 44,000 25,000 29,000 40,000 33,000 25,000 38,000 20,000 23,000 20,000 38,000

海-0012

0315

現 況 報 告

昭和 19 年 2 月 29 日

(其 一)

ラポール出張所

科 目		金 額	科 目		金 額	備 考	
株 主 勘 定			株 主 勘 定			(各種勘定ノ主ナル増減理由)	(金融状況其他参考事項)
貸 付 金			銀 行 券			預ケ金内譯	
利 付 爲 替 手 形			日 本 銀 行 預 金			南發へ定期	370,000.-/-
當 座 貸 越			定 期 預 金			通知	541,000.-/-
爲 替 當 座 前 貸			當 座 預 金	69,229.3/1		當座	847.18/1
コ ー ル ロ ー ン			特 別 當 座 預 金	258,051.6/9			
割 引 手 形	4,240.-/-		通 知 預 金				
荷 付 爲 替 手 形			別 段 預 金	158,476.18/-			
買 入 爲 替			手 形 内 入 金				
別 途 貸 付 金			政 府 借 入 金				
代 理 貸 付			借 入 金				
支 拂 承 諾 見 返			コ ー ル マ ン ー				
預 ケ 金	911,847.18/1		再 割 引 手 形				
他 店 貸			別 途 貸 付 金 見 返				
本 支 店 勘 定			代 理 貸 付 保 證				
有 價 證 券			支 拂 承 諾				
所 有 物			有 價 證 券 見 返				
假 拂 金			他 店 借			(爲替持高)	
損 益 金			本 支 店 勘 定	427,094.11/1			
前 期 損 益 金			假 受 金				
地 金			損 益 金	3,236.4/-			
保 管 金			前 期 損 益 金				
金 銀 在 高							
合 計	916,087.18/1		合 計	916,087.18/1			
預金貸出金利率			貸 付 金				
	定 期	3%	利 手				
	當 座	nil	當 座 貸	5%			
	特 當	5 rin	割 手	4.5%			
			荷 手				

東計 31 (15-2)

海-0012

0317

ラポール出張所

特別
當座預金報告表 昭和19年2 半季末現在残高 支配人 係

姓 名	利率	金 額	姓 名	利率	金 額
1 吉田 正敏	5 rin	37,699.00	54 山本 忠行	無利息	101,801.15
3 村井 貞之助	"	875.70	55 共有金保管委員	"	174.20
4 別府 建一	1 sen	17.79	56 山本 忠行	"	12,350.25
7 都築 不二雄	5 rin	453.50	57 富田 晴巳	5 rin	50.90
9 今野 一郎	"	450.70	60 國庫券	無利息	1.00
10 中桐 正光	"	2,848.10	64 本多 修二	5 rin	1,771.20
11 林 添發	"	400.50	66 生田 武夫	"	120.85
12 高橋 三二	"	1,108.50	70 本 郷	"	1,021.70
14 南共水産株式会社	"	369,267.65	74 中桐 正志	"	1.65
15 彭 壬 葵	"	45.00	79 大江 康 順	"	1.10
19 八田 榮造	"	917.80	83 田 中 啓 造	"	100.00
20 Carmilite Tabuchi	"	1,103.40	84 洪 進 文	"	1,800.05
21 峰 尾 又 一	"	52.15	85 麻 野 久 光	"	160.75
22 友 社	"	15,018.85	86 茅 塚 俊 春	"	100.00
23 友 社	"	6,891.30	88 藤 田 金 剛	"	50.00
24 集會所	"	37,648.85	89 本 平 英 男	"	251.25
25 羽根木 英 純	"	633.75	90 渡 名 政 雄	"	200.05
26 松 田 清	"	436.05	91 山 下 敏 明	"	595.65
28 第八海軍施設部	無利息	1,367.35	92 乾 重 夫	"	1,560.50
29 小林 光 雄	5 rin	241.05	93 廣 本 隆 憲	"	100.15
30 南洋興發株式会社	"	114,414.45	94 鈴 本 邦 雄	"	20.75
33 須 田 孝	無利息	278,566.50	95 國 防 飲 金	"	800.10
39 國 防 飲 金	"	10,695.00	96 大 倉 保 豐 油	"	3,313.95
41 岸 本 辰 雄	5 rin	206.60	97 大 倉 保 豐 油	"	535.15
45 山 内 昌	"	478.45	98 大 倉 保 豐 油	"	10.00
46 金 井 倉 太郎	"	10.80	99 大 倉 保 豐 油	"	500.00
47 清 水 幸	"	80,719.25	105 森 久 克 之 助	"	1.70
53 松 山 景 彦	無利息	2,107.78	107 山 崎 重 三	"	3,500.00

海-0012

0318

<small>五(52)(15-4)</small> 當座預金報告表 昭和19年2 半季末現在残高 支配人 係									
姓	名	利率	金	額	姓	名	利率	金	額
南洋興業	株式會社	nil	23,268.	9/-					
銚子	醤油	"	43.	4/6					
南興	水産	"	10,338.	1/6					
第八	海軍	"	18,909.	15/1					
南興	汽船	"	2,609.	12/8					
當	店	"	14,060.	-/-					
合			計						
			69,229.		3/1				

海-0012



特別

當座預金報告表

預52(15-4)

昭和

19年

2 半季末現在残高

支配人

係

ラホール出張所

姓 名	利率	金 額	姓 名	利率	金 額
187 菅 部 信 二	5 rin	4,477.20	222 中 村 幸 男	5 rin	134,356.65
190 高 井 康 康	"	10.00	223 矢 野 泰 男	"	571.35
191 藤 波 定 男	"	150.60	224 吉 富 茂 男	"	1,502.65
192 小 林 勝 男	"	501.85	225 中 村 幸 男	"	10,700.00
194 四 木 三 夫	"	503.35	226 中 村 幸 男	"	9,060.70
196 菅 河 海 吉	"	500.45	228 渡 邊 榮 吉	5 rin	551.70
195 阿 文 美 吉	"	251.00	229 神 野 四 郎	"	350.65
197 清 水 助 次 郎	"	903.80	230 郷 清 貴 男	"	56.00
198 田 島 健 吉	"	170.55	232 奥 藤 滋 男	"	200.50
193 藤 野 枝 子	"	330.35	233 藤 谷 秀 次 郎	"	100.30
200 藤 子 健 吉	"	200.55	236 藤 谷 金 次 郎	"	200.40
201 藤 山 貞 雄	"	160.25	237 藤 谷 幸 次 郎	"	100.20
202 市 村 武 夫	"	150.55	238 藤 谷 定 次 郎	"	200.35
203 藤 文 敏 夫	"	5.10	239 藤 谷 源 次 郎	"	500.90
205 藤 仁 敏 夫	"	200.30	100 藤 谷 源 次 郎	"	60.00
206 伊 藤 由 雄	"	491.65	102 藤 谷 源 次 郎	"	40.00
207 野 山 親 吉	"	250.35	103 洪 高 余 夫	"	3.00
208 周 錦 池 吉	"	250.30	110 高 余 夫	"	100.10
210 洲 崎 利 雄	"	401.80	111 大 山 正 輝 男	"	10.10
211 游 萬 成 男	"	105.20	119 呂 源 明 男	"	100.10
212 阿 部 弘 男	"	80.00	125 大 河 原 貞 雄	"	4,601.05
213 阿 部 治 郎	"	185,089.25	126 泉 田 幸 男	"	20.00
214 得 臣 渡 吉	5 rin	338.50	129 酒 井 康 吉 男	"	200.25
215 長 崎 八 郎	"	160.30	140 陳 傳 煥 男	"	300.55
216 岸 本 守 一 郎	"	1.00	158 邱 進 傳 男	"	500.60
217 高 瀬 敏 男	"	301.20	159 藤 山 辰 助 男	"	100.15
219 安 岡 幸 太 郎	"	300.65	161 大 久 保 貞 治	"	740.80
221 水 尾 志 免 吉	"	3.05	163 岡 崎 伊 三 郎	5 rin	115.10

別段

當座預金報告表

預52(15-4)

昭和

19年

2 半季末現在残高

支配人

係

ラホール出張所

姓 名	利率	金 額	姓 名	利率	金 額
108 宮 坂 喜 久 松	5 rin	572.95	148 水 野 敏 吉	5 rin	60.35
109 ラホール海軍宿泊所	"	127.75	149 磯 好 福 食 委 員	"	442.80
大 久 保 豊 治	"	303.15	150 藤 岡 武 夫	5 rin	864.75
112 平 井 初 治	"	2,042.95	151 和 田 正 雄	"	371.50
113 小 川 將 男	"	342.40	152 藤 田 修 吉	"	251.65
114 藤 川 又 善	"	476.40	154 高 柳 三 次 郎	"	130.70
115 三 田 滋 男	"	212.00	156 青 沼 文 雄	"	80.00
126 左 藤 國 雄	"	51.25	157 山 田 三 郎	"	140.70
117 高 野 秀 男	"	2.45	160 藤 野 保 吉	"	9,901.95
118 藤 部 厚 衛 男	"	5,000.00	164 藤 野 保 吉	"	10,080.00
120 新 井 正 美 男	"	303.30	165 藤 野 保 吉	"	2,422.70
121 池 田 三 郎	5 rin	170.60	166 藤 野 保 吉	5 rin	279.15
122 木 村 貞 男	"	910.00	167 藤 野 保 吉	"	500.00
123 藤 野 保 吉	"	100.75	168 藤 野 保 吉	5 rin	480.90
124 松 野 敏 一 郎	5 rin	500.00	170 桂 田 利 男	"	361.95
127 佐 木 伊 勢 松	"	3.35	171 長 谷 川 木 四 郎	"	110.65
128 浦 野 治 郎	5 rin	60.00	172 相 澤 雄 次 郎	"	1,697.30
132 田 中 米 治 男	"	605.90	173 田 中 島 光 治 男	"	15.00
133 三 代 辰 吉 男	"	1.00	174 藤 野 保 吉	"	6,925.35
154 藤 野 守 三 郎	"	1,092.90	176 藤 野 保 吉	5 rin	19.15
136 佐 藤 喜 一 郎	"	1.55	177 藤 野 保 吉	"	10.65
138 西 澤 高 一 郎	"	140.60	178 藤 野 保 吉	"	20.00
139 野 口 徳 太 郎	"	100.55	180 藤 野 保 吉	"	31,694.40
142 村 越 隆 吉	"	177,340.10	181 相 良 幸 七 郎	5 rin	6.95
143 藤 野 保 吉	"	457.40	182 小 松 繁 男	"	33.10
144 井 淵 由 太 郎	5 rin	150.60	183 藤 野 保 吉	"	112.60
145 井 淵 由 太 郎	"	100.35	184 藤 野 保 吉	"	21.10
146 石 橋 良 比 良 男	"	412.65	185 藤 野 保 吉	"	10.40
147 北 村 組 太 郎	"				

海-0012

0320

ラホール出張所

当座預金報告表 昭和19年2 半季末現在残高 支配人 係

姓	名	利率	金額	姓	名	利率	金額
179	郭 慶 耀	5 rin	135.15				
186	白 萬 傳	"	130.15				
189	鄧 朝 益	"	160.15				
209	陳 錫 金	"	100.15				
218	林 阿 中	"	150.15				
¥ a/c 計 173口			¥1,717,315.25				
			£ 171,731.10/6				

海-0012

0321

特別
當座預金報告表 昭和 19 年 2 半季末現在残高 支配人 係

姓 名	利率	金 額	姓 名	利率	金 額
1 別府 建一	1 sen	243.9/7	43 大町 健二	5 rin	5.7/6
2 大川 泰男	"	59.8/-	44 同第59部隊共有金		4.3/2
3 渡邊 一雄	"	51.9/-	45 同第418部隊共有金		11.3/5
4 同第59部隊共有金	5 rin	1,074.7/4	52 藤 藤 甚松	5 rin	55.8/8
5 同第418部隊共有金	無	471.1/-	63 Henry Lowerissa	"	5.-/-
6 同第59部隊共有金	7 rin	1,079.11/3	64 Matilda Lowerissa	"	3.-/-
7 同第418部隊共有金	1 sen	49.13/7	65 Smos Louise Lanzorote		14.7/8
8 同第59部隊共有金	B a/o	5/6	66 同第350部隊共有金		10.-/-
9 同第418部隊共有金	C a/o	5,356.13/2	67 同第796部隊共有金		2,724.3/2
10 同第59部隊共有金		274.1/7	68 白田 鏡吉		62.9/-
11 同第418部隊共有金	5 rin	812.11/5	69 Kalep Marlissa	5 rin	1.11/8
12 同第59部隊共有金	"	316.19/4	70 林 隆 鴻	"	2.-/-
13 同第418部隊共有金	"	3.6/4	71 同第442部隊共有金		1,207.7/-
14 同第59部隊共有金	1 sen	41.6/1	72 同第892部隊共有金		1,634.5/9
15 同第418部隊共有金	5 rin	2.7/-	73 同第796部隊共有金		39.7/6
16 同第59部隊共有金	"	166.1/9	74 清 原 隆	5 rin	64.5/5
17 同第418部隊共有金	無	581.13/4	75 湯 連 珍	"	53.50' 16/-
18 同第59部隊共有金	5 rin	16/-	76 加 藤 鈴 平	無	110.9/5
19 同第418部隊共有金	"	40.17/6	77 佐 藤 康	5 rin	9,278.7/7
20 同第59部隊共有金	"	1,778.9/4	78 同第892部隊共有金		170.10/2
21 同第418部隊共有金	"	2.15/8	79 同第796部隊共有金		100.6/-
22 同第59部隊共有金	5 rin	1,064.5/1	80 陳 珩 桂	"	10.-/4
23 同第418部隊共有金	5 rin	246.4/8	81 程 九 大	"	401.-/8
24 同第59部隊共有金	"	52.4/2	82 同第892部隊共有金		80.3/-
25 同第418部隊共有金	"	69.17/7	83 同第796部隊共有金		2 a/c
26 同第59部隊共有金		207.1/-	84 同第892部隊共有金		52 口 計
27 同第418部隊共有金		2,378.6/-	85 同第796部隊共有金		173 口
28 同第59部隊共有金	5 rin	307.-/-	86 同第892部隊共有金		225 口
29 同第418部隊共有金			87 同第796部隊共有金		2 86,319.16/4
30 同第59部隊共有金			88 同第892部隊共有金		2 171,731.10/5
31 同第418部隊共有金			89 同第796部隊共有金		2 258,051.6/9
32 同第59部隊共有金			90 同第892部隊共有金		
33 同第418部隊共有金			91 同第796部隊共有金		
34 同第59部隊共有金			92 同第892部隊共有金		
35 同第418部隊共有金			93 同第796部隊共有金		
36 同第59部隊共有金			94 同第892部隊共有金		
37 同第418部隊共有金			95 同第796部隊共有金		
38 同第59部隊共有金			96 同第892部隊共有金		
39 同第418部隊共有金			97 同第796部隊共有金		
40 同第59部隊共有金			98 同第892部隊共有金		
41 同第418部隊共有金			99 同第796部隊共有金		
42 同第59部隊共有金			100 同第892部隊共有金		

海-0012

0322

注意：前月及前日経過ノ分ニ就テ、其ノ要旨ヲ備考欄ニ記載スルコト

ラホール出張所

割引手形月表 昭和19年 2月 29日現在 高 支配人 係

債務者	自己宛	其他依頼口	其他支拂口	備考
読賣新聞社特設員	2,000.-/-			南方部保管定預
川 政	2,000.-/-			無擔保
南興汽船株式会社	240.-/-			個人保證
計	4,240.-/-			

(預 51)

注意：1. 本表ハ定期預金、通知預金、季末報告及別段預金月表ニ使用シ
2. 表題括弧内ニ勘定科目ヲ記入ノ事
3. 定期預金其他ニシテ貸出金ノ見返擔保トナレルモノハ其旨必ズ備考欄ニ記載ノ事

ラホール出張所

預金報告表(別段) 昭和19年 2月 29日現在 残高 支配人 係

姓 名	預リ年月日	期日又ハ 期 間	利 率	金 額	備 考
沖野 小風 一郎	18 6 28		nil	70.-/-	
沖野 小風 一郎	" 11 10		"	191.13/3	
沖野 小風 一郎	" 2 4			52.6/3	
沖野 小風 一郎	" 2 5			368.4/3	
第三十六海軍人用預貯金	" 2 12			19,400.-/-	
第三十六海軍人用預貯金	" 2 14			82.1/3	
第十二海軍人用預貯金	" " "			48,196.6/3	
"	" " 23			20,400.-/-	
第三十六	" " 24			10,137.-/-	
第十二	" " 26			22,690.-/-	
第三十六	" " 28			18,380.-/-	
沖野 小風 一郎	" " "			273.-/3	
第十二海軍人用預貯金	" " 20			18,250.-/-	
計				156,476.13/-	

	3	20	永	級書類
	(迄付發)	(迄結完)	永	
昭 和十九年一月二十五日				昭 和十九年一月二十五日
				日發付
				發付掛
				主務局、部
				取扱者捺印
				發付後起
				案者捺印

大臣 (白田) 次官 (澤本) 書記官 (橋本)

副 (橋本)

(主務) 專務事務室 (田中) 部長 (松本) 部員 (田中)

軍務局長 (田中) 第一課長 (田中) 第二課長 (田中) 員 (松本)

施設本部 軍需局 兵備局 艦政本部

黄紙

大臣官房 19.2.14 本局 19.2.16 記録室

昭和十九年一月二十五日

「ニューパソリン」進出企業官との取換に伴う整理措置に関する件仰裁

首題、件別紙ノ函取計ニ可也哉

官房南機密第 22 號

軍令	艦政	航空	法務	建築	經理	醫務	軍需	教育	人事	軍務	官房	局部受月日發月日

海-0012

0324

一、要旨

「ニューブリテン」進出企業官營轉換ニ伴フ整理措置ニ關スル件

南東方面情勢ノ緊迫ニ伴ヒ同方面進出民間經營事業ハ其ノ大部分ヲ海軍關係應ノ直營ニ轉換（昭和十八年十二月末切替）各商社ノ現有資材ハ關係應ニテ買上ノコトトナリタル處民間事業ノ同方面進出ハ海軍ノ強テノ要望ニ依リ危險ト犧牲ヲ豫期シツツ敢行セラレ過去ニ於テ作戦遂行上多大ノ寄與ヲナセルモノナル點ニ鑑ミ海軍ノ威信上及他地區ニ於ケル業者ヘノ影響ヲモ考慮シ之カ整理ニ關シテハ業者ヲシテ充分満足セシムル如ク措置スルヲ要ス

但シ戦前ヨリノ進出邦人ニ對スル今次大戦ニヨル損害補償尙未解決ニ屬シ且開戦後ノ南方投資ニ對スル補償方式モ尙未定ナル他本地区ノミノ受命業者ハ一ニ止マリ、大多數ハ他ノ占領地域ニ事業ヲ有スルヲ以テ補償ニ關スル根本方針未決定ノ現狀ニ於テハ根本的解決尙不能ナ

海軍

（花崎）石

ル狀況ニアリ

依ツテ本措置ニ依ル應得補償ノ四割ハ買上物件ノ選擇及買上物ノ價格、數量等ヲ考慮スルコトニ依リ期待スルコトトシ補償問題ヲナルベク殘サザル如ク措置セントス

二、措置

(イ) 本措置ハ各商社現地進出受命ヨリ昭和十九年十二月末日迄ニ於ケル事業ニ付之ガ資産負債狀況ヲ清算シ其ノ損失金額中該業者ノ責任歸スベカラザル事由ニ依リ生ジタルモノノ補填ヲ目的トス

(ロ) 昭和十九年十二月末日ニ於ケル現地決算報告（様式ハ民政部示達）

ハ個別經理ニ依リタル現地關係事業ノミノ分ニ付調製ス

右調製ニ當リテハ眞ニ補償ノ基礎トナルベキ適正損益ヲ算出スル如ク民政部ニ於テ充分内容、項目、金額ニ付検討ヲ加フルモノトス

(ハ) 買上ニ當リテハ「開墾地」「建築物」「營業施設」買上ノ如キ項目

海軍

ヲモ考慮ス

(二) 前號及各商社現有資材ノ買上ニ際シテハ可及的缺損額ヲ補填シ得ル如ク有利ニ評價シ損害補償ノ問題ヲ後ニ殘サザル如ク買上グルモノトス

此中他部へも影響を有せし事案も対して

(丙) 右ニ依リ尙處理不能ノ分ニ償テハ之ガ補償ニ關シ中央ニ於テ別途處置ス (陸軍・賠償金)

(丁) 號ニ依ル買上代金ハ要スレバ經理局ニ於テ内地ニ於ケル當該會社ノ借入銀行ニ對シ直接代り金トシテ立替支拂フ如ク措置ス

(戊) 民政部ハ本措置ニ依リ現地ニ於ケル具體的處理方策 (現地決算報告及補填處理豫定案添附) ニ意見ヲ附シ中央ニ具申スルモノトス

(終)

海軍 6

(花野稿) 石

昭和拾八年十月廿日現在

事業概況報告書

南洋拓殖株式會社
三ノ丸 事業部長
千葉 不二男

南洋拓殖株式會社

(和製紙 日本標準規格B5) 恒陽社納

海-0012

0327

(和紙紙日本標準規格B) 恒陽社

一、事業經過概要

ハ、特種蔬菜栽培事業

(イ) 昭和十一年六月第四艦隊司令部より當地ニ在テ特種蔬菜栽培命令ヲ受テ直ニ之ガ準備ニ當リ主任職員一名及技術職員六名トシテ先ガリ必要ニ農具種子等ヲ携行六月二十五日トシテ先發シメニ由ラシテ選定其他一切ノ現地ニ在ル事業着手ニ必要ニ措置ヲ講ゼシト共ニ當社知人及トシテ各特種蔬菜農場ヨリ邦人勞務者約五十名、連立渡航方手配セリ

(ロ) 七月中旬現在、田舎農場地ヲ選定シ民政部配屬ニヨリ邦住民五十名、配員ヲ得前記邦人勞務者先發隊三十名七月二十五日未着ヲ俟テ直ニ事業ニ着手セリ

(ハ) 以後邦住民ニ漸次増員セシテ開墾栽培ノ作業開始ニ進捗一方道路、修築、邦住民宿舍、建設等將來ノ施設ニ備ヘ職員宿舍ニ

南洋拓殖株式會社

時軍需部ヨリ天幕ヲ借用シテ兩條ノ浸ヤ後附近半壊家産を斡ヲ蒐集シ現在ノ宿舍ヲ建設セリ

(ニ) 其後作業ハ幾多建設時ノ困難ヲ切抜ケ好調ニ進メ九月ヨリ若干ノ收穫ヲ見以後月ヲ追ッテ漸次生産量增高十一月六十五瓊ノ生産ヲ見此ノ好調ヲ持續スニ於テ十八年七月八日ニシテ所期ノ二百瓊生産ニ達スルニ至リ

(ホ) 然レニ年ヲ越セテ一月ニ入ルヤ職員及邦人勞務者ノマラヤ罹患者續出スル共ニ天候不良及之ニ基キテ疫病猛烈ニ發生シ因リ生産材料重ニ欠乏シテ生産量加フルニ軍作戦ノ状況ニ依リ邦住民増加不可能トナリ此ノ状況ハ二月ニ移リテ益々其ノ度ヲ加ヘ此ノ儘推移スルニ於テ到底所期ノ成果ヲ得ザルヤ明白ニ状態ニ至リタルヲ以テ民政部當局ニ事情ヲ具申シテ尤ノ対策ヲ樹テ達ニ之ガ実行ヲ期シタリ



- 1. 農場ヲ新ニテ設置シ危險ノを散ラシム
- 2. 居住民勞力ノ不足ヲ補足セシメ爲 畜力機械力ヲ極力利用スルコト
- 3. 技術職員ヲ増員シテ勤務ノ煩激ノ度ヲ緩和スルト昔 居住民作業ヲ能率増進ヲ圖ルコト
- 4. 邦人勞務者(第一回到着者)ニ名差返四ニテ名)ハ全員引揚シテ
- 5. 右ノ方針ニ依リ農場ヲ新ニカニバイラカニ園接續地ニ及アイヨルハ一カカニ園接續地ニ設置シ畜力機械力ノ利用ニ付テハトラコト一ヲ二台購入スルト共ニ馬料ヲ計畫シテ馬五頭及耕具ヲ又手シ職員増員ハハライオトシテ七名四月初赴任スルコトヨリ邦人勞務者ハ四月中旬内地送還ヲ了セリ 尚栽培作物ニ付ハ生産目標ニ到達ス迄特ニ管理ニ手數ヲ要スルキヤマツト等ノ類ハ捨テ可及的範圍ニ於テ適作物主義ヲ採ル事トシ四月以降新カニ針ト等々ト下ニ再出發ヲ期スル

南洋拓殖株式會社

- (1) 其後新設農場ハ已テ得ル事情ニ依リ着手中途ニシテ放棄セル田廣一ノ於テ実績著ク向上以前、好調ヲ恢復シ八月乃至九月ニ於テ生産目標達成、目安略明カルニ至リ
- (2) 然ル處五月軍需部生産隊ヨリ田舎農場ニ於テトシテ瓜類ノ生産ヲ担當スルシトノ指回アリ 瓜類ハ當地方ニ於テハ特殊な害蟲(俗ニ瓜地ト呼ブ)多ク且火山灰土壤ニ其栽培ニ恰適トスル爲栽培困難ニシテ反當收量又大報葉葉ニ比シ半分程度至極力瓜地ノ駆除及當増收ニ努メ七月ニシテ瓜類九割ヲ占ムル百純ノ生産ヲ見ル得リ
- (3) ハ、瓜類モ右瓜類ヲ主トシ百純程度生産十月ニ目標ニ百純ニ達成スルノ銳意努力シ一方勞力増配困難ヲ爲新耕地開墾ヲ九月末現在五十町歩ヲ以テ中止シ既墾地



圃場集約的利用方法に依り反畜收量増加が図れり
方針ヲ轉換シ堆肥製造魚肥製成ヲ利用シ考慮シ
着々之ヲ準備中ノ處十月十五日ノ農場附近空襲爲る際
民全員山中ニ逃亡一時作業者能ハズ陥リり

(2) 逃亡島民ニ對シテ民政部ノ協力ヲ得テ搜索進行ノ準備ニ成
ハ日ノ経過ニ從ヒ次第ニ自發的ニ歸リ來リ十月十日ノ空襲ハ漸
ク畜面ノ糊塗シ得ルニ至リ十一月以降ノ生産爲ノ圃場管理ハ
殆ド不可能ニ壯態ニ立到リタルヲ以テ逃亡島民ノ搜索ハ
外ニポイント重要地ヨリノ島民移住ヲ考慮シ尙民政部
新元配分ヲ由請乞等極力努力ノ増強ニ努メ以テ十月以
降ノ挽回ヲ期シラリ十一月現在島民一六〇名ニシテ地
七前一七八名比シテ若干減少ナリ

南洋拓殖株式會社

(3) 最近ニ着意以來、資材ノ入手状況ニ付テ額ニ比シテ其
比較的惠ミトモト云フヲ得勿論スモテ潤澤ト稱シ難
中ニ肥料薬劑ノ如キ不足ヲ仰テ凡モ種子種苗
農具等ハ常ニ欠缺スルニ至リ現地採取可能ニ
ハ可成其ノ方法ヲ探リ或ハ農具現地修理等努メ凡種
果之等ノ不足爲作業ニ支障ヲ來スル事例ハ皆無
リキ

2. 煙草栽培事業

(1) 煙草栽培事業短期償付六十七年七月其下命令見
田農農場蔬菜園接續地ヲ以テ栽培適地ト定メ八月
五日第一回ノ播種ヲ行ヒタリ種子現地産ニシテ種
(2) 栽培ニ付テ民政部場用技師ノ指導ノ下ニ職員五名之
ニ常駐島民當初約五十名漸次増加最近百五十名
後役入

(1) 第四ノ播種後、成育状況、良好ニシテ十月本圃ニ移
植シ園場ニ於テ成育ニ良ク本年一月其、第四收穫
ヲ見タリ收量ハ反當七八十種程度ニテ内地ニ比シ良好
トハ稱シ難キ也土地不馴レ、點等考慮ニ入ル時、満足
スベキ成績ト稱スルコトヲ得メ、收穫時雨期ニ遭過ルニ到
アリタルモ、病害ノ發生モ少ク、虫害ニ至リテ、皆無ニシテ當
地方一帯煙草栽培ニ恰適ナルヲ確認セシメタリ。

(2) 其後本事業ノ進捗ハ大体ニ於テ順調ニシテ本年七月園
場ヲ經營地未成、為種苗ヲ若干放棄、已ムコトニ至リタ
ル事、及乾燥場雨漏ニ由リ風乾中、葉ヲ腐敗ニ至ラシ
メタル失敗ヲ除テ概テ良好ニ成績ヲ得メ得ト云々、
着書以來現在迄、栽培延而積現在栽培中ノモノヲ合
ス四十畝歩ニシテ今後乾燥場用原料葉、毎月三方宛

南洋拓殖株式會社

ヲ目標トシテ目下銳意園場ノ開墾ヲ急ヤラリ、勞力ハ
當時百五十名ヲ使役シ十月十日ノ農場空襲ヨリ逃亡セ
原住民ニ漸次復歸シ尙村ニ民政部ノ移住ニテ、原住民
ノ配給ヲ得現在二百二十名ヲ算ス。

(3) 本年八月從來経営中、乾燥草製造ノ外ニ紙巻煙草
製造ノ事決定シ之ガ急務、要スニ鑑ミ九月以降田舎
農場ニ於テ必要、葉煙草栽培ノ擴張ヲ急ヤ乾燥草
用外ニ毎月五畝歩先ノ栽培ヲ企圖シ尙田舎ノ農場
ノ外ニ新ニ十月一日ヨホラニル地区ニ煙草農場開設既
ニ七畝歩先ノ栽培協定有リ。

(4) 田舎煙草農場ノ施設ニ付テ本年九月差支、風乾場
ニ。坪ニ棟ヲ建設シテ當座ノ利用ニ供シ十月内地ヨリ

3. 煙草製造事業

乾燥用鐵管、到着、僅に本格的黄色煙草乾燥場建設ニ着手セルニ、棟ヲ移功セルニ、對空願慮上夜間煙火得テ状況為中止シ、已ニ得テ状況、許テ、迄風乾場ヲ増設利用トシ本年三月以降旧風乾場、修理及新ニ百坪ノモ三棟建築ニ着手十月其、完成ヲ見ル。

(4) コ、ホ新煙草農場ハ十月一日開設直ニ圃場、早經ニ着手前記、如ク既ニ播種移植、運ヒトナリ、一方火工數名ヲ以テ農場事務及島民宿舍風乾場建設ニ着手シ島民宿舍、既ニ完成事務、ハ、ハ、ハ、迄功、風乾場、目下工事ヲ急ヤツアリ。

海軍

機械(電氣熔燒器、圧搾器)器具類及香料藥品等、民政部、韓旋ニ依リ時、比較的容易ニ入手ニ得本年一月末、其、大部分現地ニ到着。

(4) 工場建物ニ付テハ、釘、鋸、板セメント等、内地ヨリ送附ラ受ケ十一月末社船ニテ豫定量着荷、必要ノ木材ハ、商社ホニト事業地製材所ニ於テ製材一月末之ヲ完了セリ(運搬ノ為、出向キタル社船、爆撃ヲ受ケ坐礁)

(5) 二月初ヨリ現在、工場位置ニ建築ヲ開始シ、屢ニ建設ノ困難ニ逢着シ、或ハ二月初旬火工三十七名赴任、途中遭難等、障碍ニ遭過タルモ、民政部當局、絶大ニ援助ニ依リ、四月末工場及原料倉庫、完成ヲ見、四月二十九日揚業開始、運ビトナリ。

(6) 引續キ工場事務、建築ニ材料、六月上旬、既、完成一

海軍

0332

海-0012

時當社より先事務所より使用申上り。
 (由) 本年八月改巻煙草製造併行ノ事決定シ十九年三月ヨリ
 操業開始ノ豫定ニテ必要ノ機械器具ハ既ニ大蔵省
 ノ拂下ラ受テ積送準備完了ノ消耗品類ハ既ニ入手済
 ニシテ現地ニ於テ工場五〇坪ノ建築ニ殆ト全部ヲ製機
 材ヲシテ近ク着工ノ豫定ナリ。

4. ホント製機事業

- (1) 昨十七年八月四日ホント地区敵産管理並製機事業經
 營又命令ニ由地ヨリ林業技術者及製機技術者ヲ着テ
 俟テ十月初旬ホント地区一帯ニ亘ル森林状況調査並製
 機事業經營準備ニ着手セリ。
- (2) 當時ホントニ於テ製機施設(マシニ、工場附屬設備)ハ敵
 機ニヨリマシニ、工場燐等ノ舍波ヲ受テ原動機(三〇馬

海軍

- カアマルエン(カ)ハ動力製機機ニ破損シテ修理スルヲ以テ先テ原
 位ニ國人ヲ督勵シテ之等機械ノ修理ニ取掛リ、約半月昔迄修
 理ノ後漸ク之ヲ運轉可能トナリ十月中旬ヨリ製機操業ヲ開
 始昨年中約六百石ノ製機量ヲ上ル全部ハ運納入セリ。
- (イ) 本年一月ニ入り附近敵機ハ跳梁甚敷對空警戒或ハ必要
 上充分ヲ能率ヲ擧ガ得ズ殊ニ二月初原住民ハ殆ト全部
 山中ニ逃亡シテ作業不能ニ陥リタルヲ以テ其ノ間逃亡島民
 ヲ山中ノ一ヶ所ニ集合セシメテ專ラ原木伐採ニ當リ八月末迄
 ニ約二千石ノ伐木ヲ爲セリ。
- (ロ) 九月ヨリ一時敵機ノ顧慮減少セル事ヨリ製機事業再開
 現在迄ニ約三百石ヲ製機量トシテ當社事業用トシテ使用セ
 ル外民衆部方面ニ納入セリ。
- (ハ) 一方當方面一帯(トリエ、マールナカノ地区)ニ亘ル森林

海軍

5. 赤尾経營

状況ヲ調査セルニ海岸ニ近接シテ有用樹木繁茂シ製材事業經營ノ好個ノ對象ヲナルヲ確認シトリト、マカバナオチノ、ニ地区ニ右製材施設ヲ十一月迄ニテ有石生産ノ企圖シカ資材購入ノ為拉致職員ヲ四月ニ東京手配シ九月中旬其大部分ヲ調達スルニ東京手配テ現地状況ヲ推察シ院ニ合ヒ輸送マツテ待機セシメ居ル次第ナリ
尚右地区ニ土地ニ表土深ク肥沃ニシテ地形地勢良好ニテ森林伐採後 出作ヲ志スル農事ヲ發ラ行フ計畫ナリ

(4) 昨十七年六月初旬南島ヨリ海軍准士官以上宿泊可陸營ノ命ヲ受ケル々本業ガ一般事業經營者ト大方向ノ異ニスル點ニ鑑ミ重宝先經驗者ト南島ノ要請ニテ告ニ併テ所屬某員調度品器具什器類ノ緊急運入方手配ナリ

海軍

(4) 七月初旬支配人東島現地當局ト打合セ結果旧パシフィックホテルヲ改修利用ノ事トリ之ニ要ル資材及大ニ調達及先施

文ニル物品ノ選抜為同人急遽内地ニ出張シマタルニ途中不幸遭難死セラル以テ後任トシテ現支配人ヲバウチヨリ招致同人九月末着任、十月中旬内地ヨリ大工十名ノ到着ヲ俟テ直ニ建物、改修ニ着手セルニ洋式様式ノ室ヲ日本風居座ニ改修スルニ容易トラサルヲ要シ加ヘニ二月下旬到着者豫定ノ身ニ次大工三十七名之又不幸途中遭難全部死セラル障礙ニ逢ヒ工事遅トシテ進メニ一部當局ノ應援ニ依リ幸ウレテ四月一日ニ曲リナリモ開業ノ遅ヒニ満キ付ルを得タリ
量ニ發注ノ所要物品、第一迄發送シモ八月初積載航況没為亡失セルニ第一迄以降も十月以後逐次着荷ニ東京ニ於テ買付完了シモ、十一月末其ノ殆ト全部到着セリ



但シ硝子陶器類、其半分の破壊使用ニ不堪リキ
 (三) 當初ノ計畫ニ依リ本島ニ附帯シテ埋設所ヲ設置シ洗濯
 業ヲ併管シテ宿泊客ノ利便ニ供セントシ洗濯業ハ本島經
 營ニ先ダテ本年二月ヨリ閉業セルニ九月以降電力供給停止
 爲作業者能ク目下休業、埋設所ノ職人及器具故
 備共二月初旬發送途中遺難死亡減少セル爲東
 京宛職人ノ派遣ノ設備器具ノ輸送ヲ要請職人ハ入り着
 任セルニ器械設備購入困難ニシテ未着ノ爲未だ閉業シ
 得ズ

6. カノ園經營

(一) 當社ノ業ニ内南洋、パラオ島ニ於テ明治製菓會社ニ接續
 仔會社熱帯農産株式會社ヲ組織、我國駐在員ニ
 最初、カノ園栽培事業ヲシテ染、極々優秀ナル成績ヲ

挙げタリタル處、當地方附近敵産カノ園ノ占領以來荒
 廢ニ委テ顧ミズ、此儘放置セルニ於テ、材向ノ良好園
 圃ニ病蟲害ノ爲價值トニ至ル處、至ラ遺棄トシ本年
 二月當局ノ指令ヲ得テカン、ハ、附近カノ園管理經營
 着手スルト共ニ、パラオヨリ専門技術者ノ來島ヲ要請ス
 (四) 然ル處、同カノ園ノ所属ニ關シ四月末陸軍ト、間ニ外
 國ノ之ヲ解決シ、然カノ簡、單トスル儘、一時手ヲ引キ送
 戰白ノ状況カノ園ノ管理等顧ミズ、至リキ
 (五) 本年七月業ニ要請セル、パラオ熱帯農産林務者總員
 十二名到着セルニ、前記カノ園カノ園經營不可能トナ
 前以テ新ニシテ、地方所在カノ園管理經營トナ
 五ニ去、於九月其ノ許可ヲ得、同月未タニヤ、カノ園カ
 ノ園ニ入園管理ニ着手シ、現在島民三十名ヲ使役既ニ

二十町歩ノ除草前定技術ヲ了シ傍ラ食糧自給作物
栽培ヲ為ス

ク 石灰焼成事業

(4) 本年五月末民政部管内ヨリ石灰焼成事業經營ノ命ヲ
受テ早速由南洋ヨリヨリ専門技術者ヲ招致シヨリ中心地
方石灰岩ニ付テ試験的ニ技術者ニ極多良質ノ石灰得尚
之ヲ火出灰セメントト適當ニ割合ニ混合スルセトト代用
トシテ適當ニ確信ヲ得ルニ至リ八月初メ技術職人八名ヲ以テ
民政部管内ノ指導ノ下ニ試験官電ヲ造出事業ノ第一階
梯ニ着手セリ

(5) 然レ第一回試験官電ニ其構造ニ於テ不完全なモテ第一階
ノ成果ヲ得テ得ザリテ以テ續イテ第二階ニ試験官電ヲ造
成試験スルニ未ダ自信ヲ得ルニ至ラズ目下從來試験一

徹シ長ク探知短ク補テ新ニ型式ノ官電造業中ニモ技術職
人ハ殆ト全員悪性マラリヤニ罹患加ルニ對シ上ノ顧慮増
大ノ為夜間燈火不可能ノ為所期ノ成果ヲ望ム能ハル
状況ナリ

ハ 事務所ノ整備

(4) 管地地方在官事務統轄ノ為昨年十月ニシテ事務所改
置サレ事務所補充ト共ニ既ニ着任勤務中職員補充ノ外
新ニ多数ノ職員ヲ必要トスルニ至リ本年一月以降逐次増員シテ
現在略シ所置ノ配置ヲ完了スル(職員配置別表)

(5) 事務所ノ當初臨時ニシテ心付元階上ニ設ト本年六月煙草工場
事務所ノ建設ヲ修メテ之ヲ移轉現在ニ至ル 職員宿舍(一時ラ
ハ心付元)ハ官舎ヲ以テ充當セルニ事務所ヲ移轉ト共ニ事務
所一隔ヲ仕切リ寢室トシ一時不便ヲ蒙ル居ル状態モト近ク

成績概要

1. 特殊蔬菜事業

急ぎ要る業務完了次第宿舎築造ニ着手セシ様定まり

(1) 當地方ニ在る特殊蔬菜事業其の内南洋ノ夫ニ比スルに
條件ニ於テ悪シク居ルモノト云フ即チ唯モリヤ等ノ悪疫
患ノ多キ、遺憾大ニ土地ノ平坦ニシテ肥沃ニ點券カノ現地調
達可能ニシテ安價ニ其ニ在リテ在る優ルモノナリ

(2) 然レニ不為宿社着書以テ成積ノ願ル時法ト良好成
績ヲ得ルモノト云フ難ク之ヲ固ヨリ得ルニ決シテ
得即チ

(3) 當初當地方ニ在る農業經營ノ形態特ニ主人使役ノ
方法ニ對シテ研究ノ是

(4) 農園ノ上ニ限定セサルヲ得ザリシ事

(1) 肥料對策ニ付研究不足トシ事

此ノ失敗ハ着業當初ノ好調ニ感サテ問題カ切實ニ取
上カルベカラルニ至ル迄管付ク生産減退カ現實ノ事實
カ現レテ周章ヲ對策ヲ講ル等ノ泥鰌的態度ニ終始セ
ルヲ顧ミテ最モ遺憾トスルナリ

(2) 生産成績ハ昨年八月着業以後上月迄ハ頗ル順調ニシテ
二月既ニ七十也ニ達セトセシ二月以降急激ニ低調化シ五月
以後再ビ修整術ヲ多盛リ返シタルモ十月以降再度急激
トナリ結局一年三月ヲ通算約一〇〇七月半場トナリ

(3) 收支状況ニ付見ル本事業ニ在テ是貴ノ大部分ヲ占ム
ル労賃ハ比較的低廉ナル為由南洋ニ在ルカ如キ赤字ノ
増高ナリ、若シ労力ノ能率化ニ付若干ノ工夫考慮ヲ拂
フ時ハ收支ハ均衡維持スルモ致ラ難事ニ非ラズ



又、煙草栽培事業

- (1) 煙草栽培に付る農家の少く、事業的経験が乏しく、不慣れな、再々難きを概不可な程度、成績が著し得る、偏に民政部當局の不当、怒罵熱心な指導、場外主義
- (2) 着書以来、一年四月ヲ顧み大に失敗トテ、著者のラ、裏に記す如く、本年七月播種ト開墾ト進捗上ノ乖離ニ因リ、大多數ノ苗ノ移植不可能ニ陥リ、事及風乾場、修理運送ノ為風乾中ノ原料葉約七百石程度腐朽セルニ至リ、此事等アリ
- (3) 此ノ失敗ノ根本的原因ハ、精力不足ニ之ヲ由ルニモ、對策ナシ、非リシ状況ヲ考フル時寧ろ其ノ責ハ、商社役員事者ニ歸スルニモ、モミシテ、一ニ事業ニ對スル經驗不足ニ基キ、計畫性、故如キ、其ノ直接的原因アリト思料ス

- (1) 亦自己批判ヲ除キテ、前記ノ如ク概不可な程度ニ事業進一々年有余、貴き經驗ヲ出シ、特ニ反當増收ニ對シ、研究工夫ヲ怠ラザルニ於テ、今後ニ對シ、充分期待シ得ルニ、状況ナリト確信ス
- (2) 一年四ヶ月間、於テ原料葉煙草ノ生産高ハ、收穫漸減、栽培面積約二十町歩ニ對シ、約一〇〇〇。種ニシテ平均反當一〇。石、成績ニテ之ヲ内地ニ比シ、時々著ルキ遜色ヲ見ル、此點今後特ニ研究工夫ヲ要スルナリ
- (3) 收支ノ状況ハ、未ダ事業不馴シト前記ノ失敗等為、栽培事業ノミニ付テ見ルトキ、予カラカ、赤字ヲ呈ス、タ、之ハ、着書者當初如何ニ事業ニ於テモ見え、性質ノモノニシテ、今後作業ノ能率化、反當増收ニ一段、工夫ヲ積ニ、於テ、費時ニシテ、消サレ、コ、ホ、新農場ハ、此ノ甚深ク留意シ、若シテ、以テ、必、可、期、感、望、ヲ、奉、得、キ、ヲ、確、信、ス



(3) 煙草製造事業

(1) 本事業は本年四月末操業開始以来概々順調な發展を見月を追って生産高増加十一月、生産高は約十方本に達し十五万本目標は未だ達成不足電力供給不足を以て目標達成に大程難事なり

(2) 操業以来、生産高は今計は約五十余万本に達し平均約八万本あり

(3) 收支の状況を見れば經費、主として原料費及勞賃、これら生産増加に伴って原料費及勞賃費は増高するも其他、經費は固定し居るに於て生産向上による程利は月産五万本に於て收支相償と其以上は於て利益確保あり

(4) 赤元

(1) 赤元開業以来一日、宿泊客平均約二十人宴会等も含

一日収入七〇円喫茶部収入一月平均四〇圓合計一〇〇圓計上ス

(2) 收支の状況は一月約三百圓程度、増損あり

(5) 其他

おこと製材カチ園管理、コシカ、名原焼成事業に付た着業以来未だ本採の經營は主として其成績に付特記すべきモノ無し

三、意見

(1) 當地進出以来一年有半其間並線下の建設事業、事多し幾多の困難障礙に直面せり、如何に之を克服し得るに今自漸、各事業軌道に乗らざる如き之偏に、民政部當局、地大丸御指導、御援助に依り、之を克服し、其言を要せし所トス、今茲に其事例

ヲ奉ル進キモ煙草事業ヲ控テ農園使役居住民勞力配
給事ヲ分テ付特ニ其ノ感痛切ナリ

④ 経験者ニ幾多ノ困難障礙ノ内漁獲、湖邊輸送勞力、配給
不充分其他日當數多キ些未ノ障礙、弟一線下ノ建設
事業ニ當然ノ事ニテ之等ノ點ニ固シテ特ニ何等キ
滿テ覺スル進ハ當社ノ如キ惠ミテモトスル感也

⑤ 又ハ最も遺憾ナシニ不堪リシ軍需部建築部ノ如キ社
立部隊ノ動モスル者ハ之場ノニ成レテ他ヲ顧ミ不得手勝
手九法之乃至、今今ヲ事業會社ニ課セントスル事ナリ
今後再進出ノ場合ニ於テ各商社ノ形式的ニ實質的ニモ
緊密ニ民政部ノ指揮下ニ置カ要スル民政部内南派
班隊、馬場部隊ヲ兼隊ト呼稱スル程度ノモノナリニ
トテ切望ス

海軍

飛

前田高士雄	藤代貞助	平川保太郎	西村富太郎	水野遇芳	柿野明男	鈴木成久	本山成一	近野一伸	寺元正男	船田梅光	廣口喜一郎	外丸利一
大正十一年八月	大正十一年八月	大正十一年八月	大正十一年八月	大正十一年八月	大正十一年八月	大正十一年八月	大正十一年八月	大正十一年八月	大正十一年八月	大正十一年八月	大正十一年八月	大正十一年八月
死	死	會計系	會計系	會計系	會計系	煙草製造	煙草製造	煙草製造	煙草製造	用度系	用度系	事業系
						東京	東京	東京	東京			

南洋拓殖株式会社

(和紙紙 日本標準規格B5) 恒陽社納

吉田俊行	本橋俊明	山口義郎	桂名直人	林敏村	峰村久	金田博之	松本恒之	打越文雄	千葉不二男	代名
大正十一年八月	大正十一年八月	大正十一年八月	大正十一年八月	大正十一年八月	大正十一年八月	大正十一年八月	大正十一年八月	大正十一年八月	大正十一年八月	大正十一年八月
會計系	煙草工場	煙草工場	用度系	用度系	兼	兼	兼	兼	兼	兼
			病氣治療	病氣治療	病氣治療	病氣治療	病氣治療	病氣治療	病氣治療	病氣治療

南洋拓殖株式会社

(和紙紙 日本標準規格B5) 恒陽社納



森三郎	上地	多口	木内喜代	林	近藤	高林	深堀	高崎	相馬
郎	松	松	司	草	草	平	治	勇	三男
大正十一年一月十七日	大正十一年一月十七日	大正十一年一月十七日	大正十一年一月十七日	大正十一年一月十七日	大正十一年一月十七日	大正十一年一月十七日	大正十一年一月十七日	大正十一年一月十七日	大正十一年一月十七日
馬	"	"	煙草栽培	肉地	農場主任	機械修理	"	"	煙草栽培
小計	六	外	六	四		小計	一六	外	三

南洋拓殖株式會社

(和紙紙日本標準規格B5) 恒陽社製

宮下	宮里	迫治	立山	千葉	沖山	落合	渡辺	鎌田	宮城	田廣	山内	坂巷
文	進	義	嗣	宏	男	雄	人	男	助	場	子	次郎
大正十一年一月十七日	大正十一年一月十七日	大正十一年一月十七日	大正十一年一月十七日	大正十一年一月十七日	大正十一年一月十七日	大正十一年一月十七日	大正十一年一月十七日	大正十一年一月十七日	大正十一年一月十七日	大正十一年一月十七日	大正十一年一月十七日	大正十一年一月十七日
							蔬菜栽培	事務	農場主任		用度	北陸運送
							病氣治療	病氣治療	省中		小計	三五
											外	六

南洋拓殖株式會社

(和紙紙日本標準規格B5) 恒陽社製

南洋拓殖株式會社

計	社員	九	三	五	六	六	名	名	名	名
合計										

(和紙 日本標準規格B5) 恒陽社納

南洋拓殖株式會社

若山恒三郎	南川兼太郎	田中半蔵	石野政雄	阿部藤助	小勝四郎	乾周市	この下関系者	外丸利一	マツタテ兼地	押坂三郎	加藤正生	ポンド兼地
	不	大正十二年	大正十二年	大正十二年	大正十二年	大正十二年				大正十四年	明治三十四年	
	事務				主	主		兼		機	主	
					(シシヤ)	(シシヤ)		小計		小計ニ	外	
								小計		外		

(和紙 日本標準規格B5) 恒陽社納



昭和十八年十二月

事業概報

ニエーブリテ島ラハウル

南興水産株式会社ラハウル営業所

南興水産株式会社

12 森田 納

海-0012

0344

昭和十八年十二月八日

南興水産株式会社ハル営業所

所 長 町 井 吾 六

三ノリ子民政部長殿

事業概報

一、事業経過概要

当社ハ昭和十七年一月海軍ノ指令ニ依リ南洋郡島トシテ南興水産
 営業所長常務取締役吉田春吉派島今年三月中旬鯉船二隻
 ニ漁支約六十名事務員十名便乗カビエンラハル各地ニ到着直ニ
 鯉魚及加工品ノ運搬ノ為メ海上及陸上ノ設備ヲ始メリ 何分モ資材
 難上未知ノ漁場ノトテ餌場漁場ヲ知り漁獲ヲ確保スル迄ニハ
 相老ノ時日ヲ要セリ 爾後東京事務所 上ラツタ営業所等ヨリ漁

南興水産株式会社

船ノ増配漁支ノ増員ヲ受テ追々漁業形態ヲ整ヘリ即チ

鯉魚ハカビエンヲ基地トシテ附近ニテ漁獲シキラハルハ運搬能ニ依リ

搬入地元カビエン細メラハルハ運搬ノ外ハカビエンニ鯉節製造工場ヲ

設ケ甚ル節生利節等加工品ヲ製造送全部ヲ軍細スルコトセリ

鯉魚ハ老地ニハルニ漁業用水ノ供給ナキ為メ老社トシテ営業所

又ハ舟イ営業所ヲ根據トス關係上著シク操業ノ能率悪シク加之

戰局ノ激化戰域ノ接近ト共ニ地域的時間的ニ操業ノ制限ヲ受テ最

近ニ到リテハ今地方ニ在ル全業漁船ノ被害モ屢々ニシテ操業亦甚ニ

老地ノ近海水域ニ局限サレ時間モ又晝間短ハルノミノハムナキニ到リ

今後例ハ増船ヲ計ルモ四回ノ情勢ニシテ好轉セザル限り漁ニ実績ヲ

上ルコト頗ル困難ナリ

製氷水冷凍冷花庫ノ建設ハ十八年一月上旬ヨリ工事ニ取掛リ鋭意

13 森田 納

竣工ヲ急ヤルモ運搬船龍田丸ヲ浮丸及妙高丸等ノ遺難ニ資材
 及建設工員ノ不著ヲ来シ仲々ニ予定通りニ進行セリモ此局ノ内後
 援ニ依リ十月二十五日製氷開始冷凍冷花ハ資材未着ノ為メ一部ヲ
 残シ一部ヲ依リ変更シ十二月下旬一先才ニ次ノ完成ヲ告ゲタリ
 規模次ノ如シ

木造平家建 建延坪 二九七坪

製氷量 日産 一〇噸

貯氷量 三二〇噸

冷凍棚上収容量 約三〇〇噸

冷花室収容量 一〇〇、〇〇〇貫 現在此、三分ノ量

冷凍室 二室 一六坪 内一室冷花室ニ改メ資材ニ到着ヲ待テ予定庫リトス

冷花室 三室 九四・五坪 内一室防熱ニ未着ナトス

南興水産株式會社

準備室 二室 二〇坪 完成

貯氷室 一室 三三坪

小出貯氷室 一室 一二坪

廊 下 一室 九坪

製氷室 一室 三二・五

機械室 一室 三八・五

處理室 一室 三一・五

事務室 一室 一一

外、工員宿舎 二棟 倉庫 一棟 便所 一棟 完成

最近空襲激烈シテ使用支那人僑民ノ離散内地ヲノ工員甚多集
 難ニ操業ノ能率悪シ

十月二十五日以降至十一月三十日 出入左ノ如シ



製米高	出水高	在庫高	單位也
一七八	一〇八	七〇	

船渠 進駐時ヨリ漁船、修理上船渠、必要ヲ痛感シアリ各ニ幸甚地
 南岬ニ於テ敵産船渠ノ拂下ケテ學上ニ架台、浚渫手巻ウインチノ手入補助
 的巻上機(カクラン)ニ台、設備奉行ヒ本産船百噸以下、上架ハ可能ニ為シ
 多ク從前トヨク迄修理、為メ帰航セシモ現在此地ニ於テハ修理可能ト云
 るハ漁船ノ操業上非常ナル利便ヲ得ル コレニ依リ現在老社ノ進出
 漁船ハ凡テ此處ニ於テ出燒キ船底塗料ノ塗換及ハ修理奉行ヒ居
 リ尚空キ時ハ老地海軍工部部ニ於テ御使用ニ充テラル

水産加工品ノ製造 鯉節、生利節ハカビエン工場ニ於テ鮮魚トシ
 テ納メ、發部ヲ充ツルモ 最近東亞節ト云ヘン鯉ヲ椰子油ヲ處理シ
 タル新製品ヲ創メ目下各地ニ工場ヲ増設製造ニ着手中ナルモ未カ

南興水産株式會社

椰子油、大半現地ニ於テ用滑ナラズ多量ニ製品ノ產出ニ到ラザル有柳ナリ
 此外鯉ノ塩辛、鯉ノ腹皮(トリス)ノ塩漬、農作物ノ肥料トシテ、
 荒粕等々ノ副産物の加工品者初リ少量ニ製造シ居ルモ漁業ノ
 常産漁ノ場合等々不足ニラ專心ニ從事ス餘裕ナク僅カ
 地元ニ出スノミニシテ老一般ノ需要ニ應ズ下能ハカル甚ク産感
 不所ナリ

成績概要

12 森田 納



漁獲高製造高組入量以認明細表

月別 昭和七年 五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	計	水揚種類	加工品	志願組入	志願組入	桶	要
一五三	一八七九一	四二二三六	五二七九一	三五四七〇	四八八三三	三九、〇〇二	二六、〇七三	二四、七二八	鮭					
一三三	一三七一	四二二三六	五二七九一	三五四七〇	四八八三三	三九、〇〇二	二六、〇七三	二四、七二八	鱈					
一〇	一五七、一〇九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	鱈					
九	一五七、一〇九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	鱈					
八	一五七、一〇九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	鱈					
七	一五七、一〇九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	鱈					
六	一五七、一〇九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	鱈					
五	一五七、一〇九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	鱈					
四	一五七、一〇九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	鱈					
三	一五七、一〇九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	鱈					
二	一五七、一〇九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	鱈					
一	一五七、一〇九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	鱈					
計	一五七、一〇九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	一五、三三九	鱈					

南興水産株式会社

12 塚田納

海-0012

0348

意見 鯉漁場トシテハモリスル附近水域ハ不通ナルモカビエンハ相モ
尤漁場ナリ殊ニ鯉節製氷是ノ地トシテハ焙乾ニ必要ナル新材紅樹
ノ殆ト下無蓋蓋藏トモ云フバキ世臣官田サハ他ノ産ク女ハハ所ナリ

目下ノ如キ戦場ト化シテス漁業ハ殆ト不能ナルモ他日常能ニ移リテ
当地ノ製氷冷花庫ヲ利用シ鮭船ノ活用ヲ期シカビエンハ鯉船ノ増配ヲ
實現シテ專ラ鯉節、車亞節、塩辛、塩腫皮及荒粕等ノ水産
加工品ニモ力ヲ注キ経営スル意固ナリ 然レモ相モノ成候モトカハ
見込テクト思考セラル

此地漁業ノ発展伸張ハ交通船ノ利便ト消費物者員ノ低廉ト
相澤トシ懸念スト大ニモアリ

(終)

南興水産株式会社

12 塚田納

海-0012

0349

昭和十八年十一月八日

南洋興發株式会社

ラバウル事業所所長

中村泰三

ニューブリテン民政部
庶務課長殿

事業概況報告ノ件

昭和十八年十二月五日ニューブリテン民政官中十三号ノハヲ以テ印里會
相成候首題ノ件左記ノ通り印報告申上候也

記

一、交易物事業

戦前昭和十一年当地ニ支店ヲ設ケ日本製品ノ販賣島産物
買付ニ當リ昭和十六年十二月七日迄營業致シ居リノレ
開戦ト同時ニ支店勤務員三名南洋ニ移留セラレタリ昭和十七
年三月十七日海軍占領下ノ当地ニ進出上月五日オ三國人所有ノ物
資ヲ民政部立會ノ上ニ買上ケ取敢不取旨ヲ開始シ六月十九日
入港ノ後國九三初メ内地ヨリ交易物賣到者シ本邦約交易物事業
ヲ開始セリ昭和十八年十一月末日迄交易物賣入情況左ノ如シ

地名	入港年月日	数量	備考
辰風丸	一七、六、一九	三〇噸	外米、其他
船南丸	一七、八、三三	二二噸	布、地、食、雜、貨
吾事丸	一七、一〇、三〇	八六噸	食料、品、雜、貨
平洋丸	一七、一一、二七	二噸	藥品
宮崎丸	一八、四、一	五噸	雜草、其他
リ	一八、六、二二	一四噸	砂糖
山東丸	一八、三、一八	一五噸	外米、其他
河丸	一八、五、二	三〇噸	外米、雜草
吉事丸	一八、七、三一	二二噸	干、草
十早丸	一八、七、二	二四噸	布、地、雜、貨
山霧丸	一八、八、一〇	四三噸	外米、食料、品
急丸	一八、八、二二	一四噸	布、地、雜、貨
計一重		二六〇噸	

販賣ハ本店ヲラハシムニ置キ出張所ヲカビエンケニ置キ且ニ回貨物車
ニ依リ陸路移動販賣員ニ當リ他月一回機帆船ニ依リ海路移動販
賣員ニ當リ新民オ三國人ニ放出セラレタル軍票ノ回收ヲ圖レリ
昭和十八年十一月末日迄販賣情況左ノ如シ

輸入物資金額 二七〇〇〇〇〇円
 販賣物資金額 二四〇〇〇〇〇円
 在 庫 品 二〇〇〇〇〇円 在 庫 原 質

昭和十七年五月十七日蔬菜保食山根道千他一上名到着トハラ
 地区ヲ選定農場開設宿舍建設ニ取リ掛リタルニ新民ノ募集
 農具ノ到着等々意ノ如ク成ラズ且ツ上語ニモ到着セザル為メ作業
 意ハ如ク進捗セザリシニ遂次保食農具ノ到着上語ノ到着
 等ニ依リ遂次生産量ヲ増加昭和十八年七月念ノ日稈頭ノ
 ニ〇〇山ノ生産量ヲ集計スルニ至リタリ其ノ間病害出立ニ單馬ノ
 被害甚重ニ依リ新民ノ逃亡等有りタリモ各農家切テ養生シ
 切リ取ケ得ノシモ当地特別ナル土壤ノ早急ナル地力減退ハ内地ニ於
 ケル農業ノ通念ヲ以テスル肥培管理ハ甚ノ効無ク土地ノ廣大ナル
 ヲ利用シ開墾ニ依リ新畑ニ植付クルノ他新築小屋ヲ事ヲ体頭
 シ得タルハ貴重ナル体験ナリヤ

昭和十八年十一月末現在農場概算左ノ如シ

年日	月	生産量	年日	月	生産量
一月	九	五五〇	一月	九	四六〇
二月	一〇	五五〇	二月	一〇	四六〇
三月	一一	五五〇	三月	一一	四六〇
四月	一二	五五〇	四月	一二	四六〇
五月	一三	五五〇	五月	一三	四六〇
六月	一四	五五〇	六月	一四	四六〇
七月	一五	五五〇	七月	一五	四六〇
八月	一六	五五〇	八月	一六	四六〇
九月	一七	五五〇	九月	一七	四六〇
十月	一八	五五〇	十月	一八	四六〇
十一月	一九	五五〇	十一月	一九	四六〇
十二月	二〇	五五〇	十二月	二〇	四六〇
計		六六〇〇	計		五五二〇

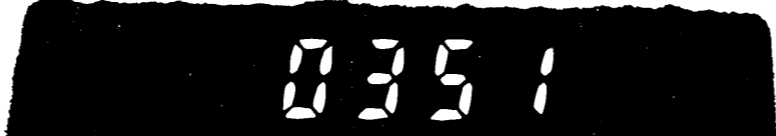
昭和十八年十一月末現在農場概算左ノ如シ

年日	月	生産量	年日	月	生産量
一月	九	五五〇	一月	九	四六〇
二月	一〇	五五〇	二月	一〇	四六〇
三月	一一	五五〇	三月	一一	四六〇
四月	一二	五五〇	四月	一二	四六〇
五月	一三	五五〇	五月	一三	四六〇
六月	一四	五五〇	六月	一四	四六〇
七月	一五	五五〇	七月	一五	四六〇
八月	一六	五五〇	八月	一六	四六〇
九月	一七	五五〇	九月	一七	四六〇
十月	一八	五五〇	十月	一八	四六〇
十一月	一九	五五〇	十一月	一九	四六〇
十二月	二〇	五五〇	十二月	二〇	四六〇
計		六六〇〇	計		五五二〇

開墾面積

トハラ	九三〇	地区別	人	新	計
ウラタワ	三三〇	トハラ	一四〇	新民	一五五
ラカンダ	一〇〇	ウラタワ	二二〇		六〇
計	一五六	ラカンダ	二八		八
		計	二八		二五八

椰子園事業
 昭和十七年十月ヨリ十二月ニ至リ保食到着セシニ蔬菜事業ノ
 進捗ヲ計ル爲メ蔬菜農場ヲ應接昭和十八年二月ヨリ
 ニ至リニエブリアン島アットアット・ランカレレ・カビツト・ニエブリアン島



コウラ、コマル、カリリ、コカ、ヒラロン、サモ、各十圓ニ保直ラ奉理ノ旨
 昭和十八年十一月十日不附十圓管理情形左ノ如シ

國名	町数	保直	保直率	保直額	備考
コマル	三〇〇	二〇〇	二	三〇〇	...
コウラ	四〇〇	三〇〇	二	四〇〇	...
クルムツト	一五〇	一〇〇	二	一五〇	...
ロロ	五〇	五〇	二	五〇	...
サモ	六〇〇	四〇〇	二	六〇〇	...
ヒラロン	三〇〇	二〇〇	二	三〇〇	...
ラムソン	三〇〇	二〇〇	二	三〇〇	...

石油石種製造事業

國名	町数	保直	保直率	保直額	備考
バナナガ	四〇〇	二〇〇	二	四〇〇	...
アトアト	一〇〇	八〇	二	一〇〇	...
ネンドツ	三〇〇	二〇〇	二	三〇〇	...
イトル	三〇〇	二〇〇	二	三〇〇	...

昭和十八年三月ヨリ四月ヨリ工場建設費大ニ増大ニ成リテ四月ヨリ前
 石油機ノ一部昭和十八年四月改訂八月ヨリ前着セルラメテ八月ヨリ
 アイルランド島カリリニ附近原木ニ依テ假工場ヲ設ケテ生産セリ
 軍需部生産廠ノ施設ヲ得テ建設ニ着手シ十一月上旬漸ク
 前島石油工場ノ竣工ヲ見據業開始ニ至ビトナリタルモ其ノ副産
 分品ノ破損不足等ノ補充等ノ爲メ工場竣工直レテリ備不備
 ノ不足ニ依リロシ機ノ運轉ヲ省略運轉中ニテ石油機率甚ク増大



ニシテ是才運送ニ要スル部品並ニ輸化釜(ワシム製公用)本年特ノ増加ヲ軍需部ニ依頼中ナリ
昭和十八年十一月末現在情況左ノ如シ

コブラ榨油量 八〇〇キロ
榨油量 二〇〇キロ

石炭製造高 二五〇〇(二首一〇〇五)

以上何レモ一日ノ能率ニシテ月ニテ五日運送予定

軍需部依頼ノ部品到着(何レモ現地ニ製造可能ノモノ)セハ現在ノ能率ノ倍加ハ確實ナリ一日運送能率五屯ノ米山式榨油機ハ資材未タ積込ニ在リテ未到着ナリ

米作事業

昭和十七年六月新井技手以下二名ノ保賃到着八月米作地選定ノ為ノ民政部石井技師已渡前所長新井技手他トリチ方面ニ調査ニ赴キ結局同方面ハ二年ニ一回程度灌水有ラテ米作地トシテ不適当ナル旨ヲ同地駐在獨逸軍官技師新民村長等ヨリ悉取九月同所ヲ引上げ十一月ニアイルランド島ソフニ調査ニ赴キ同所ヲ適地ト認め新民三〇名ヲ伴テ宿舎ノ建設新民食糧増ノ達成ニ着手セルモ新民數少キ為メ作業遅タトシテ進マザリシ所 昭和十八年八月民政部ノ新設ニ依リニ部名ノ新民ヲ後テヨリ新々事業進歩シ米作一カニエテソラ島マンブールニ於テ米作開始ス可ク準備ヲ進メテ新民ヲ召集出来ヤル為メ蔬菜園ノ新民三〇名ノ廻シ試作中ナリ保賃到着ト同時ニ二〇〇キロノ米ノ開墾用大農具農具等到着セルモ收穫調整具他穀機切刈機等米機等東京ニ準備シ有レテ運送不可能ニテ未到着ナリ

昭和十八年十一月末現在情況左ノ如シ

種別	面積	備考
陸地	三六	二月中旬落成可成
食糧地	二二	廿二頃一町名カカ
木料地	一七	代地二町地界五町
計	七五	

種別	面積	備考
陸地	二二	廿二頃一町名カカ
食糧地	二二	廿二頃一町名カカ
木料地	一七	代地二町地界五町
計	九	

在米實數

地別	邦人	才島人	新民	計
マンブール	五	一	三〇	三五
ソフ	一	一	二五	二七
計	六	二	五五	六三

カカオ事業

昭和十八年七月保貨五ヶ年更新他二列着直十ニウツタカカオ園ニ入
園管理着手九月ヨリ先豆ヲ早需部ニ卸入セリ九月ノウツタカカオ地
区カカオ園管理一着十月ノートニシテ早十園内カカオ管理着手
コノア製造機大改ニ送送準備ノ儘年列着
昭和十八年十一月末情況左ノ如シ
先豆卸入量

九月	九月	九月	九月	十月	十月	十月	十月	十一月	十一月	十一月	十一月	十二月	十二月	十二月	十二月	計
園	名	所	産	産	産	産	産	産	産	産	産	産	産	産	産	計
ウツタカ	ウツタカ	ウツタカ	ウツタカ	ウツタカ	ウツタカ	ウツタカ	ウツタカ	ウツタカ	ウツタカ	ウツタカ	ウツタカ	ウツタカ	ウツタカ	ウツタカ	ウツタカ	計
ハルバ	ハルバ	ハルバ	ハルバ	ハルバ	ハルバ	ハルバ	ハルバ	ハルバ	ハルバ	ハルバ	ハルバ	ハルバ	ハルバ	ハルバ	ハルバ	計
サシ	サシ	サシ	サシ	サシ	サシ	サシ	サシ	サシ	サシ	サシ	サシ	サシ	サシ	サシ	サシ	計
入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	計
出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	計
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	計
右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	計
右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	計

製材事業

昭和十七年八月保貨田中便手他三列着直十ニウツタカカオ園ニ入
出資九月ヨリ保貨田中便手他三列着直十ニウツタカカオ園ニ入
ヲ貯油倉庫工場製材倉庫破壊修理セリ故テ不足ニ成ル可キ

製材機ラセリ妙高丸ニテ發送セル全船沈没セル為メ未列着株
ツアトベラ柳十園ニ有リシ月器甚ノ他ヲ寄セ集メマンブール農場期整
原木ヲ所理スベク九月マンブールニ製材所ヲ建設セルモ原動機ノ調ナ
更ク船ト運載ニ堪ハザル情態ナリ
ウラモア製材所操業中左記早需部ニ卸入セリ
板材 三四五石 角材 四六五石 計 八二石

二成績

交易事業

昭和十八年十一月末迄ハ現在ノ船腹情況ヨリ見テ円滑ナル交易
ノ送付有リテ大体ニ於テ円滑ナル營業ヲ爲シ得テ相当地成績ヲ得
得タリ事業ハサイバン積出砂糖積載船ノ沈没並ニ思昭丸積交易
物資ノ沈没ノニ因ナリ

蔬菜事業

昭和十七年三月事業着手以來新民募集ノ困難且上土誌ニ對
直セザル等ノ理由ニ依リ出荷量微々タルモノニシテ成績甚ク不良
ナリシモ園土土器ノ習熟開墾新追加栽培等ニ依リ昭和十八年七
月ヨリ漸ク目標額ニ近ク突破ノ好成绩トナタリ同業ノ保貨
新民ヲ便用シテ生産量ノ増加ヲ求メタリ



椰子園事業

ニードイルランド西岸鐵貫道路ニ事別並有リタル椰子園ニシテ
日産ナル椰子園並ニ十月ノ園ノ椰子園ヲ除キテハコアラ製菓中
ニシテサモヒラロンノ如キハコアラ製菓出果ヤル高ノ高ノ高トナリ製
菓中止ノ所有リ全休トシテハ事業漸ク増ニ就キタル所機ニシテ
コアラ製菓ハ順調ナル成績ナリト現任ノ如キ情況ニテハ地城ニ依
リテハ輸送困難ナル場所モ有ル可ク今後ノ成績ハ一ニ輸送ノ間
題一依リ在右セルト思考ス

椰油石鹼事業

現在事業漸ク増ニ就キタル所ナリト簡易製油機ヲ以テス
ル天今後多少ノ改良増設ヲ為サバ現地要未量ノ製造モ
可能ナル見込シテ得得増産成績ヲ擧ゲ得ルモノト思考ス

米作事業

事業漸ク増ニ就キタル所ナリトニードイルランド島ニ於ケル武作ノ
結果ハ龍宮島宮ハ全ク予想以上ナルモノニテテ何レハ收穫比
率トナリタリ病虫宮ハ現在近ニ割程度ナリ以上ノ経過ヨリシ
テ野鼠害鳥ノ対策ヲ講ズルモ將來好成績ハ擧ゲ得ルモノ
ト思考ス

カカオ事業

事業着手以來乾豆製造ハ順調ナル成績ヲ擧ゲツツ有リ

製材事業

本格的製材機ニ依リ製材ハ順調ナル成績ヲ擧ゲ得タルト現任
ノ情況ニテハ原木採集地城ハ危険ニ成リ且ツ製材品輸送モ
困難ナルハ成績ヲ擧ケルハ困難ナルモ情況好転セバ順調ナル成績ヲ
擧ゲ得ルモノト思考ス

三.意見

本社ニ對シテハ新巧ナル機械ヲ主体トスル事業ハ僅少ナル部分品ノ
未到着又ハ設備ニ依リ運転不能ニ陥ル場合多クモ依リ不運事
ト認ムべき運送事業負ノ運送ニ當リテハ従事業者ニ對シテハ
勿論ノ思想便國身作強健ニシテ一人好ク多數ニ當ルカ如キモノヲ
最小限度取置スル事ヲ従来ノ如ク重視並ニ東京ニ於ル担主者者
カ事業地ヲ視察シ現地トノ連絡ヲ計ルハ事業進歩上甚ク
益スル所大ナリ

軍當局ニ對シテハ幸ヒ司令官民政部長根據地首席參謀民
政部長各任何レモ民業ニ對スル理解ノ深甚ナルモノ有リシ故ニ
事業達成ニ好都合ナリキ民政部長者ハ現在ノ如キ民業ニ理解



昭和十八年十月九日

高桑産業株式会社ラブル出張所

園田重一



ニューヨーク市民政部長殿

事業概報提出件

十月五日附照會件ニ関シ事業概報提出仕候也

高桑産業株式会社

(西大179)

海-0012

0357

高桑産業株式會社ラバウル事業所事業概報

一 事業経過概要

當社事業ハ、ニトロ、ブリテン島ラバウルヲ中心トシテ行ヒツマル
 事業ニシテコレヲ大別シ 農場経営、珈琲精製及飲食店
 経営、ニ部内ニ分ケ第一農場経営、第二飲食店経営
 ニスルモニシテ何レモ昭和十七年七月より既着手
 自昭和十七年七月一日
 至、十八年十月三十一日 十七ヶ月間

ラバウル事業所邦人現配置表

氏名	年令	現配	置	当地進出年月日
園田重一	三四	ラバウル事業所 代表者	者	昭和十七年十月十九日
高橋富雄	三二	ラバウル事業所 會計庶務主任	主任	十八年七月五日
高桑産業株式會社				
園田政一	二八	ラバウル事業所 珈琲精製係	係	昭和十七年十月十九日
草刈秀明	二四	ラバウル事業所 珈琲精製係	係	十月十日
政氏友一	三七	農場主任	主任	十月十九日
西願信造	二九	アシジキ農場勤務	勤務	十八年七月五日
佐藤武	二二	ツチラマ農場勤務	勤務	二月十日
西田芳一	一九	〃	〃	三月十九日
高桑彌之助	二八	佳美苑出張所主任	主任	十七年四月五日
山本耕三	二〇	〃	勤務	〃
高橋一夫	二九	木吉浦出張所勤務	勤務	十月十日
他一名事務科台帰還、一名病氣内遷、二名死之				

現在計十一名

(西大179)



第一事業 農場経営

場 此 ニコブリテン島バイング地区ウナマアンリギ両農場

両農場ニ於テ糧食の生産シ当領所在艦船部隊其他ニ対シ
之等生産品現地供給ヲ図ル目的トシテニコブリテン民政部達第
ニコブリテン民政部指令第三十号ヲ以テ指令サタルモノナリ

ウナマ農場 当農場陸稲栽培 在来食物生産 珈琲
カオ園管理 家畜飼育等ヲ併セ行ヒツアリ

の米作 昨年末米作、御下命ナルヤ農業技術者、
來着ニヨリ直ニ少量現地種ヲ八種シ種ニ方法ヲ以テ試作
ニ着手本年四月中頃收獲ヲ了シ 又内地産、穀種現
地ニ到着シ試作中ニシテ其成績ニツキテハ末ダ報告、域
ニ達セザルモ本年中ニ 五十町歩ノ開墾ヲ完了セシムベク

高桑産業株式会社

努力中ナリ

尚米作ニ必要ナル資材モ遂次内地ヨリ補充中ニシテ

脱穀、攪摺、精米等ニ要スル諸機械モ既ニ当地ニ到着

セルヲ以テ現地ニテ製米トシ所要ニ應ジテ供給、予定ニテ

御当局、指導ヲ仰ガツ、従業員又種エ夫ヲ凝シ増

産ニ努メツアリ。

在来食物(名辛甘藷、玉蜀黍、タバコカ)

管理開始當時、數町歩ナリシモ遂次増殖シ現在ニ十五町

歩ニ及ビ其生産品ハ使用新民、主食トシテ給與シツ、

アリ從テ米、給與ハ規定、四分一ニ節約サル

尚余剩アルトキハ当局ニ供出シツ、アルモ極力多量、供出ヲ
ナス(ク當時植付五〇町歩ヲ目標トシテ増殖中ナリ。

(西大179)

(一) 珈琲、カ、オ

右、既植ノモノニテ其大部分ハ珈琲トシ若干カ、オヲ併植シタルモノナリ。管理開始當時ハ長期間、漁リキ入ヲナサハリシト工場機械類、故障ヨリ其生産停止中ナリシモ当局ノ御支援ヨリ復活シ爾後ハ概テ順調ニ生産サレツマアリ。生産サレル珈琲ハ内地ヨリ移轉セル機械ヲ以テ精製シ艦船部隊其他供給シ内若干モ、内地海軍部内ニ輸出サレタリ。カ、オ、植付ハ少数ナレドモ其生産品ハ原料豆、マ、海軍当局ヲ至テ内地ニ輸送サレ加工利用サレツマアリ。珈琲、当地供給ハ將兵、好評ヲ博シ居ル状態ニシテ能率増加、一要素タルモノニシテ其供給源泉トシテ当農場ハ、恰好ナルモノナリ之カ保持育成ニ努力カシ。

高桑産業株式会社

カ、オモ要望品ナレバ概テ見テ増殖ノ方針ナリ

(二) 家畜及果實

当初家畜保有皆無ナリシモ家畜入手ニ努メ後表、如キ保有量トナレリ

果實類又バナ、パイヤ、ジャボン、オレンジ、レモン等

月産二〇〇群ニ及ビ大部分ハ当社経営、南花茶苑ニテ

販売シ又当局ニモ統供出ヲ見ツマアリ

アソシヤト農場

当農場カ、オ栽培ヲ目的トシ昭和十八年五月三十一日附

民政部指令第四九号ヲ以テ任命セラレタリ、

監理開始以來日尚浅キモ十月末迄三五〇〇群

生産ヲ見タリ、

(西大179)

海軍地帯間ニ於ケルカ、才豆生産ハ当領ラン、且取タルモノトスル
 由ニシテ之ガ生産ハ急遽ヲ要スルヲ以テ月産四屯ヲ目標ニ
 努力中ナリ。

前期西農場管理ニ要セシ機械トシテ本社ヨリ輸入セル

農機具及種子農薬類左、如シ

- 1. 農機具類 一五〇・六四・九〇 脱穀機、精米機、籾摺機、合種切機、斧、鋸、剪定、鋤、其他
 - 2. 種子類 二五七・九〇 米、野菜、果実、等種子類
 - 3. 農薬類 一・一三〇・三〇 肥料、病虫害駆除剤、防鼠剤
 - 4. 備用品 五二六・八〇 大工道具、炊事用具、其他
- 計 一六、九六九・九〇

高桑産業株式会社

西農場人員配置左表、如シ

ウナラフ農場

事項別	邦人	三国人	新民
陸稻	一	一	五〇
珈琲、カ、オ	二	三	一三四
在来食物	兼務	〇	二〇
計	三	四	一九四

アソリンギ農場

事項別	邦人	三国人	新民
カ、オ	一	一	三七
在来食物			

(西大179)

第二事業

当社別途管理セル農園ニテ生産セル、珈琲ヲ内地ヨリ
 移轉セシメタル機械類ヨリ精製シ当局指示ニ從ヒ
 艦船部隊其他ニ供給 生産局、約六割ハ軍納トシ
 残余ハ賣店ニテ使用シテアリ

賣店ニテ使用シテ原料ハ主トシテ現地産、モウ調理シ其
 價格モ何品ニ依ラス十平均一トシ此迄迄業ハ好評ヲ博シ
 爾来各地ヨリモ出張方要望アリ近辺ニ分店ヲ
 開ク事四ヶ所ニ及ビ各店共大盛況ヲ見ツ、アリ
 迄業所在地開業年月日
 及従業員現配置左如シ

高桑産業株式会社

賣店	所在地	開業年月日	人支那人	新住民	百收者ハ一日表平均
菊花茶苑	ラハウル市	昭和 二七・七・一〇	二名	一三名	一、二〇〇名
下吉共休恩所	〃	一八・四・五	一	七	一、〇〇〇
八施設員會館	〃	一八・六・一	一	三	二〇〇
木古浦分店	木古浦	一八・九・三	一	四	三〇〇
佳美苑分店	佳美苑 <small>（ラハウルランド）</small>	一八・四・三	二	六	四〇〇

右賣店要スル食器具類及原料等本社ヲ輸入セルノ左表如シ

1. 食器具類 六七〇・七・四〇 珈琲精製用機械 カップ各種
珈琲タンク各種 アイスクリーム器等

2. 原材料 一五、二七六・〇〇 吳、天、紅茶其他

計 二一九八三四〇

(西大179)



二 事業成績概要

当事業所設置以来、事業成績左、如シ。

第一事業

管理以来、雨農場生産高及損益概算

珈琲豆 生産高 四二、〇七好

カ、大豆 " 一三、三一〇好

塊根類 " 一六六、〇〇好

豆類 " 三、二〇〇好

陸稻 " 一、〇〇〇好

家畜保有数 三三頭 三〇頭 五頭 三九羽 一〇羽

損失金 一九七、〇〇〇

第二事業

高桑産業株式会社

南花茶苑及其他賣店

總賣上金 一五〇、三〇〇円 営業部納入金額

仕入経費金 一二六、五三〇円

差引利益金 二三、七七〇円

(西大179)



三、意見

本社ニ対スル意見

本社トハ事業遂行上連絡打合等非常ニ煩雜
ニテコレト云フ意見ナキモ 農業技術者及ヒ
必要人員ノ急速派遣ヲ要ス

当局ニ対スル意見

御当局ノ理解アル中指導ニモトニ社員一同一丸トナリ
和氣鬩々ノ中ニ御奉公ニ勵ミツニアリ別シテ
意見等ナシ

統端 当社昨年中曾当地進出以來二十ヶ月間

高桑産業株式會社

御当局ノ御支援ニモトニ誠心誠意御奉公
申上ケル事業漸ク其緒ニツキコレガ整備
完了トシ上ハ其成績ハ期スベキモアリト
信ズル次第ナリ

(完)

(西大179)

自昭和十七年七月一日
至昭和十九年三月末日

事業計畫書

高桑産業株式会社

海-0012

0365

第一 總論

本計畫ハニユーブリテン島ヲウバルヲ中心トシテ行フ事業ニシテ、コレヲ大別シ農場經營、珈琲カ、ヲ精製及飲食店經營ノニ部門ニ分チ

第一事業計畫書ハ農場經營ニ關スルモノ

第二事業計畫書ハ珈琲カ、ヲ精製及飲食店經營ニ關スルモノニシテ、何

レモ昭和十七年七月ヨリ既ニ着手シ、目下進捗中ナレドモ

自昭和十七年七月一日

至昭和十九年三月末日

二十一ヶ月間

ヲ第一期計畫トシテ昭和十八年八月末日現在ヲ以テ一括セシモノナリ。

第三 資金計畫

豫算總額 五二三、一六円也

分 類	内地松資金	現地松資金	資金合計	松資合計
(イ) 第一事業計畫書分	一〇〇、六五〇円	一六三、八五〇円	二六四、五〇〇円	九八、〇四七円
(ロ) 第二事業計畫書分	五〇、九五五円	二〇七、六六一円	二五八、六一六円	一一九、六六三円
合 計	一五一、六〇五円	三七一、五一一円	五二三、一一六円	一一七、七一〇円

資金調達法

内地松、現地松資金共ニ自己資金ニ依ル。

第三 初年度事業目論見
一 総支出金 三〇〇,〇七〇円也

分類	金額	摘要
(1) 第一事業計畫書分	九三、六九〇円	
(2) 第二事業計畫書分	二〇六、三八〇	
合計	三〇〇,〇七〇円	

二 總收入金 三二七、四七〇円也

分類	金額	摘要
(1) 第一事業計畫書分	八八、二二〇円	
(2) 第二事業計畫書分	二三九、二五〇円	
合計	三二七、四七〇円	

三 差引利益金 二七、四〇〇円也

0367

自昭和十七年七月一日
至昭和十九年三月末日

第一事業計畫書

(農場部門)

六 五

海-0012

0368

事業計画書

第一 事業ノ概要

一 事業ヲ行フ場所

ビスマルク群島ニユーブリテン島バイニング地区内

ウナラマ、アソリンギ、ノートルマウ、ウスウキット、ランギノア各農場

二 事業ノ目的

本計画ハ前記各農場ニ於テ糧食自ラ生産シ、當領所在ノ艦船部隊其ノ他ニ対シ、之等生産品ノ現地供給ヲ図ルヲ目的トシ更ニ進ンテ余利アルトキハ他地区ノ海軍部内ニ供給スルモノニシテ、ニユーブリテン民政部達第五號、ニユーブリテン民政部指令第三一号及第四九号ヲ以テ指令サレタルモノナリ。

三 事業ノ内容及現狀

地区別	陸稻(新規事業)		在米食物(既存)		珈琲(既存)		カニ(既存)		椰子		合計		家畜(新規事業)			
	面積	植付	面積	植付	面積	植付	面積	植付	面積	植付	面積	植付	豚	山羊	鶏	鶩
ウナラマ	200町	50町	200町	50町	200町	50町	100町	50町	1000	1000	270町	13	11	110	50	
アソリンギ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
ノートルマウ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
ウスウキット	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
ランギノア	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	200	50	200	50	200	50	100	50	1000	1000	270	13	11	110	50	

(昭和十八年八月末現在)

第二 各農場の説明

一 ウナラマ農場

當農場ハ陸稻栽培ヲ主トシ、在米食物ノ生産、既存珈琲園ノ管理、家畜

ノ飼育等ヲ併行シテ行フモノナリ

(4) 米作

従未備地方ニ於テ消費ナル、米ハ全部ヲ輸入ニ俟チタルモノニシテ、一部個人識者ヲ除キテハ殆ンド顧ミラザル状態ナリシモ、現地自定自給ヲ計ルハ急務ニシテコレガ増産ニ努メツ、アリ。

昨年米作ノ御下命アルマ直ニ農業技術者ヲ送り少量ノ現地種ヲ入種シ種々ノ方法ヲ以テ試作ニ着手シ、本年四月中旬收穫ヲ了シ、至難視サレタル米作モ栽培可能ナルノ自信ヲ得タリ、又内地産ノ粳種モ現地ニ到着シ試作中ニシテ八月末ヨリ順次收穫ノ予定ナリ、内地産ノ炭積ニツキテハ未ダ報告ノ域ニ達セザレドモ、現地産種ハ試作ノ結果ヨリ微スルニ及当式儀(及当ハキリ百二十粒)ヲ下ルコトナキモノト豫想サレ、試作ノ経験ヲ以テ適地ヲ探ビ、一〇〇町歩ヲ目標トシ、本年度中ニ、五〇町歩ノ開墾ヲ完了セシムベク努力中ナリ。

処女作物タル米作ニ必要ナル資材ノ現地入手ハ困難ナルニヨリ逐次内地ヨリ補充整備中ニシテ晚穀、叔摺、精米等ニ要スル諸機械モ既ニ現地ニ

到着セルヲ以テ現地ニテ製缶トシ所要ニ應ジテ供給ノ予定ニシテ、御当

(5) 在来ノ食物(タロ芋、甘藷、玉蜀黍、タピヲカ等)

管理開始当時ハ一〇町歩余ノ植付アリシモ、逐次増殖シ、現在二十五町歩ニ及び其ノ生産品ハ、使用島民ノ主食トシテ給与シツ、アリ、従ツテ米ノ給与ハ規定ノ四分ノ一ニ節約サレ尚余剩アルトキハ当局ニ供出シツツアリ。

当農場ハ基地ヨリ相当ノ距離ニアリ生鮮野菜類ノ供出ハ百傷ミ多ク至当ナラザルニヨリ、在来食物ノ増産ニカヲ致シ米ノ生産ト相俟テ完全自給自足ノ域ニ達セシムルト共ニ極力多量ノ供出ヲナスベク、常時植付五〇町歩ヲ目標トシテ増殖中ナリ

(6) 珈琲、カ、ヲ

右ハ既植ノモノニシテソノ大部分ハ珈琲トシ、若干ノカ、ヲ併植シタルモノナリ。

管理開始当時ハ長期間ニ及リ手入ヲナサツリシト、工場機械類ノ故障ニ



ヨリソノ生産停止サレタリシモ、当局ノ御支援ニヨリ復活シ承後ハ概ネ
 順調ニ生産サレツ、アリ。生産サレタル珈琲ハ内地ヨリ移轉セシメタル
 機械類ヲ以テ現地ニテ精製シ艦船部隊其他ニ供給シ、内若干ノモノハ内地
 海軍部内ニ輸出サレタリ。

カ、ヲノ植付ハ少数ナレドモ、ソノ生産品ハ原料ノ陸海軍当局ヲ經テ内
 地ニ輸送サレ加工利用サレツ、アリ。

珈琲ノ現地供給ハ將兵ノ好評ヲ博シ居ル状態ニシテ能率増加ノ一要素タ
 ルモノニシテ、ソノ供給源泉トシテ、当農場ハ恰好ノモノナルニ依リコ
 レガ維持育成ニ努カシ、カ、ヲモ亦要望品ナレバ機ヲ見テ徐々ニ増殖ノ
 方針ナリ

(二) 家畜飼育及果実の増産

当初家畜ノ保有ハ皆庶ナリシモ種畜ノ入手ニ努メ前表ノ如キ保有数トナ
 リシモ、御当局ヨリ指示サレタル凡表ノ本年度増殖計画ヲ目標トシ、コ
 レガ増殖ヲ期シツ、アリ

五	牛	二五	豚	一〇	山羊	三五〇	鶏	一一二	鶯
---	---	----	---	----	----	-----	---	-----	---

果実類ハ急速ナル人口ノ増加ニ伴ヒ漸次不足ヲ来シツ、アルニ鑑ミ昨年
 末ヨリ空闲地、間作等ニヨリ増殖中ニシテ、既ニ一部ハ結果シ少量ナガ
 ラ移出ノ域ニ達シツ、アリ

(ホ) 附屬事業

原始林開墾ニヨリ生ズル原木ノ処理ニ関シテハ関係当局ト接衝シ供出ス
 ルコト、ナレリ。

當農場ヲ中心トスル道路開闢モ當局ニ快カスル意味ニ於テ約三哩余ノ材
 木伐採ヲ了シタルモ労働力ノ不足ヨリ中絶ノ止ムナキニ至リタルモコレ
 が完成ヲ期シツ、アリ。

ニアツリンギ、ノートルマウ、ウスウキット、ランギノア、各農場
 右地区ハ何レモカ、ヲ栽培ヲ目的トシ之ト併行管理ヲ有利トスル椰子園

0371

管理ニ任ズルモノナリ。

(4) 當方面ノカ、ヲ、珈琲ハ庇蔭樹ヲ以テ日光ノ直射ヲ避ケシムルモノニシテ、庇蔭樹トシテ使用サル、モノハ椰子、カボック、ネム、葛木等ニシテ右農園ノ大部分ハ椰子ヲ以テ庇蔭樹トシテ併植サレ居ルモ、長期間ニ返リ放置セルタメ、コレガ復活ニハ数ヶ月ヲ要スル見込ニシテ必要ナル既存設備モ修理ヲ要シ、資材モ亦整備ヲ要スルモノ多ク之等ハ遊休施設等ヲ以テ補充シツアリ、労働者モ遂次入手シ七月末ヨリ整備ニ着手セリ、海軍地区内ニ於ケルカ、ヲ豆ノ生産ハ當領ヲソノ最タルミノトスル由ニシテ、之ガ生産ハ急速ナルヲ要スルモノニシテ、初年度ニ於ケル生産予想ハカ、ヲ豆ハ。屯たり、併植サレタル椰子ヨリ生産サル、コブラハ年百屯ナリ。

之等生産品ノ処分ニ関シテハ御當局ノ指示ニ従フモノナリ。

(5) 前記各農場ハ何レモ使用島民ノ主食トシテ給与スルヲ目的トスル、在来食物ノ栽培モ併行シテ行ヒ農場内ニ存在スル家畜ニ関シテモコレガ飼育ヲ行フモノナリ。

第三 人員ノ配置

邦人従業員ハ指導員ノミヲ渡航セシメ、極力現地第三國人ヲ使用シ労働者ハ凡テ島民ヲ以テ之ニ充ツルノ方針ナリ。邦人従業員ハ主トシテ農業技術者ヲ派遣シ之ニ少数ノ機械技術者及書記ヲ配ス。

專業推進ノ根本ヲナス労働者ノ募集ハ種々ノ現狀事情モアリ急速ニ行フコト至難ナレドモ御當局ノ斡旋ニヨリ之ガ獲得ニ努メツ、アリ

人員配置豫定及ビ現況を、如シ

表名	邦人		第三國人		島民	
	配置予定数	現配置数	配置予定数	配置数	配置予定数	配置数
ウナラマ	六	四	三	三	二五〇	一五七
アムンギ	三	二	一	一	六〇	一一
イトルマウ	三	一	一	一	四〇	一
ラギノア	二	一	一	一	三〇	一
ウツツ	一	一	一	一	三〇	一
合計	一四	六	六	四	三八〇	一六九



資金計畫書

豫算総額 二六四、五〇〇円

内訳 (1) 内地私資金 一〇〇、六五〇円 (内私済 四五、五九二円)
 (2) 現地私資金 一六三、八五〇円 (内私済 五三、四五五円)

科目	内地		現地		資金合計	摘要	
	予算	私済	予算	私済		私済合計	未私合計
一、土地建物整備費	二〇〇〇円		二七、〇〇〇円		二九、〇〇〇円	二九、〇〇〇円	
(1) 土地整備費			(一八、〇〇〇)		(一八、〇〇〇)	(一八、〇〇〇)	
(2) 建物整備費	(三〇〇〇)		(九、〇〇〇)		(一、一〇〇〇)	(一、一〇〇〇)	
二、資材整備費	五七、九四七	三五七、六二	一〇、四〇〇	四〇〇	六八、三四七	五六、一六二	三三、一八五
(1) 運搬器材	(三五、一〇〇)	(九、九五〇)	(一〇、四〇〇)	(四〇〇)	(三、五五〇)	(三、三三〇)	(二、一五〇)
(2) 機械類	(二二、八四五)	(三三、七五)			(一、五二五)	(三、三七五)	(一、四五〇)
(3) 農具	(二、二五〇)	(九、六四〇)			(一、二二五)	(九、六四〇)	(二、六一〇)
(4) 工具	(三、九〇五)	(六、九五)			(三、九〇五)	(二、六九五)	(三、二一〇)
(5) 什器	(三、八六七)	(二、一〇二)			(一、八六七)	(一、一〇二)	(一、七六五)

一五

科目	内地		現地		資金合計	摘要	
	予算	私済	予算	私済		私済合計	未私合計
一、肥料農薬費	二一〇、八円	一、五六五円			二一〇、八円	一、五六五円	五、四三円
二、渡航整備費	六三、六五円	三、九四五			六三、六五	三、九四五	三、四二〇
三、調査研究費	五、〇〇〇				五、〇〇〇		五、〇〇〇
四、俸給、労働費			一〇八、一五〇	四七、二二五	一〇八、一五〇	四七、二二五	六〇、九二五
五、其他諸経費	二七、三三〇	五、三三〇	一八、三〇〇	四、八三〇	四五、五三〇	一〇、一五〇	三五、三八〇
合計	一〇〇、六五〇	四五、五九二	一六三、八五〇	五三、四五五	二六四、五〇〇	九八、〇四七	一六六、四五三

一六



土地建物整備費

二九、〇〇〇円

(土地整備費) (土地) (現地海軍) (貸下地)

分類	面積	開		整		合計
		労働者人数	単価	労働者人数	単価	
米作地	五〇町	九、〇〇〇人	〇、五〇円	四、五〇〇人	五、〇〇〇人	一、二、〇〇〇円
在米食地	二五町	四、五〇〇人	〇、五〇円	七、五〇〇人	七、五〇〇人	六、〇〇〇円
合計	七五町	一三、五〇〇人	〇、五〇円	一二、二五〇人	一二、二五〇人	一八、〇〇〇円

建物整備費

分類	件数	建坪	単価	金額	摘要
工場拡張	一棟	五〇坪	八〇円	四、〇〇〇円	材木類等現地材料ヲ使用ス
住宅増設	一棟	五〇坪	一、〇〇〇円	五、〇〇〇円	全
神社建造	一棟			二、〇〇〇円	社殿ノミ内地調達
合計				一一、〇〇〇円	

資材整備費

六八、三四七円

(運搬機材)

品名	型式機能	数量	単位	単価	金額	発注	未発注	摘要
船舶	小型	一	隻	一〇、〇〇〇円	一〇、〇〇〇円		一〇、〇〇〇円	現地買入
船舶用機械	24重油機関	一	基	二、五〇〇円	二、五〇〇円			全
	9Pカリン	一		一、二五〇円	一、二五〇円			
	カP	一		七〇〇円	七〇〇円			
	カP	一		七〇〇円	七〇〇円			
オート三輪車	ツバサ型	三	台	二、八〇〇円	八、四〇〇円		四、四〇〇円	現地買入
全部分活		一	式	五〇〇円	五〇〇円		二五〇円	
牛車	四輪車	一	台	七五〇円	七五〇円			
	二輪車	六	台	三、六〇〇円	二一、六〇〇円			
荷車	大八車	六	台	一、五〇〇円	九、〇〇〇円			
自転車		六	台	二、五〇〇円	一五、〇〇〇円			
リヤカー		五	台	一、〇〇〇円	五、〇〇〇円		三、〇〇〇円	
合計					三五、五〇〇円		一五、一五〇円	



機械類 (既存工場設備類、現地海軍有償貸下モノヲ使用ス)

品名	型式機能	数量	単位	単価	金額	数量	金額	数量	金額	摘要
石油発動機	24P	2	台	400.00	800.00	2	800.00			
ガソリン発動機	14P	1	台	500.00	500.00	1	500.00			
自動脱穀機	3P	1	台	245.00	245.00	1	245.00			
精米機	清水式	1	台	100.00	100.00	1	100.00			
穀類機		1	台	250.00	250.00	1	250.00			
製材機	移動式	1	台	1,000.00	1,000.00	1	1,000.00			
水車装置		1	台	350.00	350.00	1	350.00			
カラ搾油機		3	台	250.00	750.00	3	750.00			
ミヤ敷造機		1	台	500.00	500.00	1	500.00			
部分団	ガソリン発動機	1	台	80.00	80.00	1	80.00			
粉砕機	手動式	1	台	300.00	300.00	1	300.00			
萬石	手動式	1	台	150.00	150.00	1	150.00			
揚水ポンプ	手押	5	台	50.00	250.00	5	250.00			
合計					3,825.00		3,825.00			

一九

農具

品名	型式機能	数量	単位	単価	金額	数量	金額	数量	金額	摘要
自動脱穀機		2	台	1,000.00	2,000.00	2	2,000.00			
発動機	耕種機	2	台	500.00	1,000.00	2	1,000.00			
碎土機	畜力	5	台	600.00	3,000.00	5	3,000.00			
プロシワ		大	台	90.00	540.00	大	540.00			
ハート		2	台	200.00	400.00	2	400.00			
鋏	鋏	4	丁	40.00	160.00	4	160.00			
熊手		5	丁	40.00	200.00	5	200.00			
鶴嘴		1	丁	30.00	30.00	1	30.00			
斧	土佐斧	3	丁	30.00	90.00	3	90.00			
手斧		5	丁	30.00	150.00	5	150.00			
万鋏	田舎万鋏	1	丁	50.00	50.00	1	50.00			
フオーク		5	丁	20.00	100.00	5	100.00			
鋏	備中鋏	5	丁	50.00	250.00	5	250.00			
シヨベル	丸型	5	丁	50.00	250.00	5	250.00			
角型		5	丁	50.00	250.00	5	250.00			
合計					11,000.00		11,000.00			

二〇



(ウ) 什器

品名	型式機能	数量	単価	金額	発注済	未発注	摘要
牛車環		10	30	300	10		
濾水器		5	70	350	5		
算盤		1	500	500		1,000円	
農業書籍		10	30	300	10		
体温計	各種	10	10	100	10		
注射器	針ツキ	10	10	100	10		
製図器		1	70	70	1		
水平測定器	各種	3	7	21	3		
公秤	自動式	1	10	10	1		
秤	槓桿式	5	5	25	5		
水温計		3	25	75	3		
湿度計		1	40	40	1		
寒暖計	最高最低	3	12	36	3		
品名	型式機能	数量	単価	金額	発注済	未発注	摘要
半田植機		1	150	150	1		
ワックス		1	5	5	1		
セメント		30	5	150	30		
捻子切		1	75	75	1		
ポール	各種取付	50	15	750	50		
シマフト類		150	1	150	150		
メタル類	各種取付	100	3	300	100		
銅帶類	取付	700	15	10,500	700		
マニラロープ		300	5	1,500	300		
大工道具		3	200	600	3		
巻尺	5.0米	2	25	50	2		
トランシット		1	400	400	1		
釘	各種	10	40	400	10		
砥石		10	10	100	10		
円砥石	5寸径	10	50	500	10		
品名	型式機能	数量	単価	金額	発注済	未発注	摘要
半田植機		1	150	150	1		
ワックス		1	5	5	1		
セメント		30	5	150	30		
捻子切		1	75	75	1		
ポール	各種取付	50	15	750	50		
シマフト類		150	1	150	150		
メタル類	各種取付	100	3	300	100		
銅帶類	取付	700	15	10,500	700		
マニラロープ		300	5	1,500	300		
大工道具		3	200	600	3		
巻尺	5.0米	2	25	50	2		
トランシット		1	400	400	1		
釘	各種	10	40	400	10		
砥石		10	10	100	10		
円砥石	5寸径	10	50	500	10		
品名	型式機能	数量	単価	金額	発注済	未発注	摘要
半田植機		1	150	150	1		
ワックス		1	5	5	1		
セメント		30	5	150	30		
捻子切		1	75	75	1		
ポール	各種取付	50	15	750	50		
シマフト類		150	1	150	150		
メタル類	各種取付	100	3	300	100		
銅帶類	取付	700	15	10,500	700		
マニラロープ		300	5	1,500	300		
大工道具		3	200	600	3		
巻尺	5.0米	2	25	50	2		
トランシット		1	400	400	1		
釘	各種	10	40	400	10		
砥石		10	10	100	10		
円砥石	5寸径	10	50	500	10		

(ウ) 什器

目二

品名	型式機能	数量	単価	金額	発注済	未発注	摘要
半田植機		1	150	150	1		
ワックス		1	5	5	1		
セメント		30	5	150	30		
捻子切		1	75	75	1		
ポール	各種取付	50	15	750	50		
シマフト類		150	1	150	150		
メタル類	各種取付	100	3	300	100		
銅帶類	取付	700	15	10,500	700		
マニラロープ		300	5	1,500	300		
大工道具		3	200	600	3		
巻尺	5.0米	2	25	50	2		
トランシット		1	400	400	1		
釘	各種	10	40	400	10		
砥石		10	10	100	10		
円砥石	5寸径	10	50	500	10		
品名	型式機能 <td>数量</td> <td>単価</td> <td>金額</td> <td>発注済</td> <td>未発注</td> <td>摘要</td>	数量	単価	金額	発注済	未発注	摘要
半田植機		1	150	150	1		
ワックス		1	5	5	1		
セメント		30	5	150	30		
捻子切		1	75	75	1		
ポール	各種取付	50	15	750	50		
シマフト類		150	1	150	150		
メタル類	各種取付	100	3	300	100		
銅帶類	取付	700	15	10,500	700		
マニラロープ		300	5	1,500	300		
大工道具		3	200	600	3		
巻尺	5.0米	2	25	50	2		
トランシット		1	400	400	1		
釘	各種	10	40	400	10		
砥石		10	10	100	10		
円砥石	5寸径	10	50	500	10		

目三



品名	型式機能	数量	単価	金額	既済	未済	摘要
合計				三、八六七	一、一〇二	二、七六五	
食料							
其他雑品				三、〇〇〇	一、一〇〇	一、九〇〇	

三 肥料農薬種子費 三、一〇八円

分類	品名	数量	単価	金額	既済	未済	摘要
(1) 肥料	硫酸	一五〇	〇、六	九〇	一五〇	九〇	
	硫酸石灰	一五〇	〇、二五	三八	一五〇	三八	
	硫酸銅	五〇	〇、三	一五	五〇	一五	
(2) 農薬	生石灰	一〇〇	〇、三	三〇	一〇〇	三〇	
	大至農薬	五〇	〇、二	一〇	五〇	一〇	
	除虫菊乳劑	一〇〇	五、〇	五〇〇	一〇〇	五〇〇	
	硫酸石灰	一〇〇	〇、二	二〇	一〇〇	二〇	
合計				一、一〇二	一、一〇二		

分類	品名	数量	単価	金額	既済	未済	摘要
種子	大豆	一〇〇	〇、七五	七五	一〇〇	七五	
	小麦	五〇	〇、三	一五	五〇	一五	
	雑穀	一〇〇	〇、七	七〇	一〇〇	七〇	
	硫黄草	一〇	〇、五	五	一〇	五	
	陸稻	四	一、二〇	四、八〇	四	四、八〇	
	野菜	四	一、八五	七、四〇	四	七、四〇	
	果実	三	二、八〇	八、四〇	三	八、四〇	
合計				二、一〇八	二、一〇八		

四 渡航整備費 六、三六五円

科目	人員	平均	金額	既済	未済	摘要
仕度金	一九人	一五〇円	二、八五〇	一九人	二、八五〇	
保険料	一九人	一五〇円	二、八五〇	一九人	二、八五〇	
食費	一九人	三五	六、六五	七人	二四五	
合計			六、三六五	三、九四五	二、四二〇	

五 調査研究費

五,〇〇〇円

科目	金額	既支出		摘要
		金額	未支出	
調査費	一,〇〇〇円			
研究費	三,〇〇〇円			
合計	五,〇〇〇円			

六 俸給及労働賃銀 一〇八,一五〇円

分類	科目	区別	人員	平均	金額	既支出		摘要
						金額	未支出	
労働賃銀	給与	新入	二八〇	一〇四	三三,六〇〇	一六,〇〇〇	三三,六〇〇	現物給与
	給料	新入	二八〇	三三	一〇,〇八〇	一六,〇〇〇	一〇,〇八〇	"
	食費	新入	一九〇	一〇四	三,二八〇	七,〇〇〇	三,二八〇	"
	"	新入	一九〇	一〇四	八,七〇〇	四,〇〇〇	八,七〇〇	"
	賞与金	新入	一九〇	一〇四	二,八〇〇	七,〇〇〇	二,八〇〇	"
合計					一〇八,一五〇	四七,三〇〇	六〇,九二五	現地支払

七 其他諸経費

四五,五三〇円

科目	品名	数量	単価	金額	既支出		摘要
					金額	未支出	
荷造運搬	炭	七〇	六〇円	四,二〇〇	三〇	一,八〇〇	
燃料	炭	七〇	二九	二,〇三〇	三〇	八七〇	
衛生費	ガソリン	一〇	一四〇	一,四〇〇	二	二八〇	現物有償取下
衛生費	炭	一〇	三五四	三,五四〇	三	二八〇	
生産面包装費	炭	一〇	一,六〇〇	一六,〇〇〇	一	一六,〇〇〇	全
輸入税	輸入品見積価格	一	四,〇〇〇	四,〇〇〇	三	三,五〇〇	現地支払
事務用品		一	一,〇〇〇	一,〇〇〇	四	二,五〇〇	
予備金				一五,〇〇〇		五,七五〇	
合計				四五,五三〇	一〇,一五〇	三五,三八〇	

八 資金調達法

内地滞現地持資金共ニ自己資金ニヨル

支出之部
總支出金 九三六九〇円

事業目録見書

自昭和十七年七月一日
至昭和十九年三月末日

科目	数量	單位	金額	摘要
一 俸給	一一人		三三、三〇〇円	倉庫監理七人分一四、五二〇円 管理員三人分一八、七八〇円 (賞与金金庫貸付金)
二 三圍人	四人		五四七〇円	八月迄既支給四人分三、四四〇円(賞与金三、〇〇円) 九月一二月 三、三三〇円
三 労働賃銀	二〇〇人		四八、一六〇円	八月迄既支給一六〇人分二九、九六〇円 九月一二月 一八、二〇〇円
四 種子糞葉費	一斗		八五〇円	
五 燃料費	一二屯	(炭)	二、九四〇円	重油大屯一四〇円 八四〇円 カリン大屯五五〇円 二、一〇〇円
六 生産用品費	一七〇〇枚		二、七二〇円	紙袋代金
七 衛生費			二五〇円	薬品代金
八 其他諸経費			一、〇〇〇円	
合計			九三、六九〇円	

收入之部
総収入金 八八、二二〇円也

品名	数量	單位	金額	摘要
一 陸稻	一六〇	石	九、六〇〇円	本期圃内、作付町歩数二〇町歩ト又 一町歩当八石收穫ノ割
二 在米食物	二五二	屯	一五、一三〇円	一ヶ月平均十二屯三十一ヶ月間
三 珈琲	七五	屯	二七、五〇〇円	〃 三、五七 〃
四 カ、ラ	三〇	屯	一八、〇〇〇円	十月以降一ヶ月五屯 六ヶ月間
五 果實類	二〇	屯	三、〇〇〇円	〃 〃 四屯弱 〃
六 副産物			六、〇〇〇円	
七 コアラ	二〇	屯	一、六〇〇円	十月以降一ヶ月四屯 六ヶ月
八 木材	一〇、〇〇〇	石	(四、〇〇〇円)	五町歩圃内ニ要スル労働賃銀(三分ノ一)
九 家畜			(四、〇〇〇円)	
合計			八八、二二〇円	

差引損失金 五、四七〇円也

一九
三〇



本期成績ノ上ラザルハ既存農園ノ荒蕪セルタメ、コレが後活整備ニハ多大ノ勞働力ヲ要シ、從ツテ本期間内ニハ生産品ノ多量ヲ期待サレザルト米作ヲ目的トスル原始林開墾地ハ全面的活用ニ至ラズ、之ニ要スル邦人ノ俸給ハ土地整備費即チ投資トセズ、事業費トシテ計上セシモノニシテ、凡ソ農業殊ニ原始林開墾ニアリテ、利益ヲ上げ得ルニ至ルニハ数年ヲ要スルヲ通常トスルモノナリ。

事業漸クソノ儲ニツキコレが整備完了ノ上ハソノ成績ハ期スベキモノアリト信ズル次第ナリ。

三二
三二

0381

自昭和十七年七月一日
至昭和十九年三月末日

第二事業計画書

(珈琲カ、フ精製
飲食店ノ経営)

田

三

海-0012

0302

事業計画書

一、事業ヲ行フ場所

ビスマルク群島、ニユーブリテン島、ラバウル前、コ、ポ
ニユーアイルランド島、ケビアン

二、事業ノ目的

現地ニテ生産サル、珈琲カ、ヲテ現地ニ於テ精製ノ上、現地艦船部隊其
ノ他へ供給ヲナスト共ニ、賣店ヲ設ケ出末得ル限リ、現地産ノ珈琲、カ、
ヲ、眾実、在末食物等ヲ以テ調製セルモノヲ海軍々々、軍属ニ販賣スルヲ
目的トスルモノニシテ、ニユーブリテン民政部指令第八号及第十二号ヲ
以テ指令サレタルモノナリ

三、事業ノ内容

1. 珈琲ノ供給

当社別途管理セル農園ニテ生産サル、珈琲ノ供給ヲ受ケ、内地ヨリ移
張セシメタル機械類ニヨリ精製シ、当局ノ指示ニ従ヒ、艦船部隊其ノ

三五

三六

他ニ供給或ハ賣店ニ供給シツ、アリ。生産予想高ノ約六割ハ軍納トシ
残余ハ賣店ニテ使用ノ予定ナリ。

2. コ、アノ供給

コ、ア、チヨコレートノ現地製造ハ機械類未整備ノタメ未着手ナレドモ
コレガ遊休設備ノ移転ニヨリ、現地供給ヲ計畫中ナリ、從ツテ現在生産
品ハ原料ノ供軍納シツ、アリ。

3. 賣店ノ經營

ラバウル市ニテ珈琲、コ、ア其他原産ノモノヲ原料トセル飲食物ヲ
調理シ、ソノ価格モ何品ニ依ラズ十均一トシテ販賣店ノ經營ヲ開始
セシニ、休息慰安ノ設備完全ナラザル所ナルヲ以テ、コレガ兩店ハ非
常ナル好評ヲ博シ、爾來各地ヨリモ出張方、要望アリ近辺ニ分店ヲ開
クコト四ヶ所ニ及ビ各店共大盛況ヲ見ツ、アリ。
營業所々在地及兩店年月次ノ如シ



名 称	所在地	開業年月日	一日平均 収容人数	摘 要
南花茶苑	三ヶ浦ラバウル島	一七、七、一〇	一、二〇〇名	
下士官兵集会所	〃	一八、四、二九	一、〇〇〇名	出張販売
八建工員会館	〃	一八、六、一	二〇〇名	
水古浦分店	ココボ	一八、九、三	五〇〇名	
借 束 苑	三ヶ浦アイランド島 ケビアン	一八、四、三	四〇〇名	
五ヶ所			三、五〇〇名	

四 人員ノ配置

邦人従業員ハ指導員ノミヲ渡航セシムル方針ナレドモ種々ノ事情ニ
ヨリ未ダ人員充實セズ、極力現地第三國人島民等ヲ使用スルモノニ
シテコレガ

配置豫定及ビ現況凡ノ如シ

配置予定及ビ現況

配置場所	邦 人		第 三 國 人		新 民	
	予定数	配置済	男 予定数	女 配置済	予定数	配置済
珈琲コッパ精製	五名	一名	一	一	五	三
南花茶苑	六	二名	四	一	四	四
下士官兵集会所	三	一	二	一	二	二
八建工員会館	一	一	一	一	一	一
水古浦分店	三	一	三	二	三	三
借 束 苑	三	二	一	一	三	三
合 計	二一名	八名	二一名 三〇名	九名 二五名	一八名	一六名

二七

二八

資金計畫書

豫算總額 二五八、六一六円

内譯 (内地私資金 五〇、九五五円 (内私済 二五、九七三円)
 現地私資金 二〇七、六六一円 (内私済 九三、六九〇円))

科目	内地私		現地私		資金合計	精要	
	予算	私済	予算	私済		私済合計	未私
一 機具整備費	八〇、四五五	五、一四五			八〇、四五五	五、一四五	二九〇〇
二 採材仕入費	一四七、一〇円	一一、九五五	一〇八、四〇〇	五三、四〇〇	一五五、一〇〇	六四、五五五	五八、七五五
三 食料共整備費	八、六一〇	四七一三			八、六一〇	四七一三	二八九七
四 炭坑整備費	六、九三〇	三、二七〇			六、九三〇	三、二七〇	三、六六〇
五 事業費			九、九八八	四、二九〇	九、九八八	四、二九〇	五、六九八
六 其他諸経費	一、六六〇	八九〇	六、二七三		一八、九三三	八九〇	一八、〇四三
合計	五〇、九五五	二五、九七三	二〇七、六六一	九三、六九〇	二五八、六一六円	二一九、六六三	一三八、九五三

三九

資金調達法

内地私 現地私 共 二 自己資金 二 三〇ル

四〇

品名	数量	単価	金額	発註済	未発註	摘要
生珈琲	七五	五〇〇	三七五〇	四〇	三五	現地買入
採物	一〇〇	一〇〇	一〇〇〇	八〇	二〇	
砂糖	六〇	六一〇	三六六〇	二〇	四〇	
在末食物	三〇	六〇	一八〇〇	一〇	二〇	
饅頭	五〇〇〇	五	二五〇〇	一〇〇〇	四〇〇〇	
紅茶	一五〇	二	三〇〇	一〇〇	二〇〇	
寒天	一九〇	五五	一〇四五〇	一〇〇	一〇〇	
香料	五〇	七	三五〇	一五	三五	
着色剤	二〇	八	一六〇	三	一七	
合計			八〇四五	五一四五	二九〇〇	

二 原材料仕入費

一一三、一一〇 円

品名	型式機能	数量	単価	金額	発註済	未発註	摘要
自販車		二	一〇〇	二〇〇	二	二〇〇	
リヤーカー		一	一〇〇	一〇〇	一	一〇〇	
合計				三〇〇	三	三〇〇	

三〇

三 機具整備費

八〇四五 円

品名	型式機能	数量	単価	金額	発註済	未発註	摘要
珈琲焙煎機	大型	一	七五〇	七五〇	一	七五〇	
珈琲粉砕機	大型	一	三九〇	三九〇	一	三九〇	
微粉機	付	一	七〇〇	七〇〇	一	七〇〇	
電動機	一馬力	三	四五〇	一三五〇	三	一三五〇	
珈琲粉砕機	二馬力	一	三〇〇	三〇〇	一	三〇〇	
打栓機		一	五〇	五〇	一	五〇	
珈琲タンク	大小	四	八五〇	三四〇〇	四	三四〇〇	
冷却器		三	四〇〇	一二〇〇	三	一二〇〇	
濾過機	水用	一	七〇	七〇	一	七〇	
氷削器	手廻し	四	一四五	五八〇	四	五八〇	
アイスクリン製造機		二	四五〇	九〇〇	二	九〇〇	
氷菓子製造機	モーター付	一	一五〇	一五〇	一	一五〇	
傳導装置		一	一五〇	一五〇	一	一五〇	
調理器		二〇〇	二六五	五三〇〇	二〇〇	五三〇〇	
工具類		一	一〇〇	一〇〇	一	一〇〇	
合計				八〇四五	五一四五	二九〇〇	

三〇



品名	形状	数量	単位	単価	金額	数量	金額	数量	金額	摘要
酒石酸		50	箱	8	400	50	400			
コブ茶		20	打	5	100	20	100			
番茶		10	貫		70	10	70			
箱		2000	組		50	2000	50			
合計					3,210		6,455			5,875

三 食器具整備費

八六一〇円

品名	形状	数量	単位	単価	金額	数量	金額	数量	金額	摘要
皿		200	枚	2	400	200	400			
碗		100	枚	5	500	100	500			
茶碗		50	枚	8	400	50	400			
湯杯		100	枚	5	500	100	500			
グラス		100	個	2	200	100	200			
密豆箱		20	箱	5	100	20	100			
合計					1,500		3,000			1,695

四三

品名	形状	数量	単位	単価	金額	数量	金額	数量	金額	摘要
ナイフ		50	枚	5	250	50	250			
フォーク		50	枚	5	250	50	250			
箸		100	双	4	400	100	400			
鍋		1	口	400	400	1	400			
漆器		1	口	400	400	1	400			
磁器		1	口	400	400	1	400			
ガラス		1	個	400	400	1	400			
合計					1,695		3,397			3,872

四四

予算超過

四 渡航整備費

六、九三〇円

科目	人員	平均	金額	既支出		未支出		摘要
				人員	金額	人員	金額	
仕度金	二一人	一五〇円	三、二五〇円	一人	一、五〇〇円	一人	一、六五〇円	
保険料	二一人	一五〇円	三、一五〇円	一人	一、五〇〇円	一人	一、六五〇円	
食費	二一人	三〇円	六、三〇〇円	一人	二、七〇〇円	一人	三、六〇〇円	
合計	二一人		六、九三〇円	三人	三、二七〇円	三人	三、六六〇円	

五 事業費

九、三九八円

分類	科目	區別	人員	平均	金額	既支出		未支出		摘要
						人員	金額	人員	金額	
(1) 俸給	給料	邦人	二一人	一五〇円	三、七〇〇円	一人	一、六九八円	一人	二、〇〇〇円	現地支払
		邦人	二一人	一五〇円	三、一〇〇円	一人	一、五八七円	一人	一、五一三円	
		邦人	二一人	一五〇円	二、五〇〇円	一人	一、二五〇円	一人	一、二五〇円	
		邦人	二一人	一五〇円	二、四〇〇円	一人	一、二五〇円	一人	一、一五〇円	
		邦人	二一人	一五〇円	二、四〇〇円	一人	一、二五〇円	一人	一、一五〇円	
給食	邦人	二一人	三〇円	五、〇四〇円	一人	一、九三〇円	一人	三、一一〇円	現物給身舎人	
給食	邦人	二一人	三〇円	三、八八八円	一人	一、九七〇円	一人	一九一八円		
賞与金	邦人	二一人	一〇〇円	二、五〇〇円	一人	一、二〇〇円	一人	一、三〇〇円		
雑費	邦人	二一人	二〇〇円	四、二〇〇円	一人	一、〇〇〇円	一人	五、〇〇〇円		
合計					九、三九八円	四、二九〇円		五、一〇八円		

六 其他諸経費

一八、九四三円

科目	数量	単価	金額	既支出		未支出		摘要
				数量	金額	数量	金額	
荷造運搬	三〇屯	六〇円	一、八〇〇円	一〇	六〇〇円		一、二〇〇円	
諸掛	三〇	二九	八七〇円		二九〇円		五八〇円	
輸入税	三、三六五円		六、二七三円				六、二七三円	
予備金			一〇、〇〇〇円				一〇、〇〇〇円	
合計			一八、九四三円		八九〇円		一八、〇五三円	

0300

事業目論見書

自昭和十七年七月一日
至昭和十九年三月三十一日

支出之部

総支出金 二〇六三八〇円

科 目	員数	単価	金額	摘 要
一 原材料仕入費			一三三、一〇〇円	
二 事業費			七五、五〇〇	
一 押入給料及賞与			(五〇、五八〇)	九年度定率八八分二八八〇円 十月ヨリ三月迄十八分二、六〇〇円 (食費及合入)
二 労働人寮住民給与			(一八、六二〇)	九月迄 支出 一〇、〇九〇円 十月ヨリ三月迄 八、五三〇円
三 諸雑費			(四、二〇〇)	
四 諸却償			七、七七〇	
一 被服類	五三〇〇円	二割	(一、〇四〇)	
二 食器具類	八六一〇円	二割	(一、七三〇)	
合 計			二〇六三八〇円	

四七

収入之部

総収入金 二三九、二五〇円

科 目	員数	単価	金額	摘 要
一 渡航整備費	三、三〇〇	三分一	(一、一〇〇)	
二 輸 入 税	二四、〇〇〇	二割	(四、八〇〇)	
合 計			二〇六三八〇円	

四八

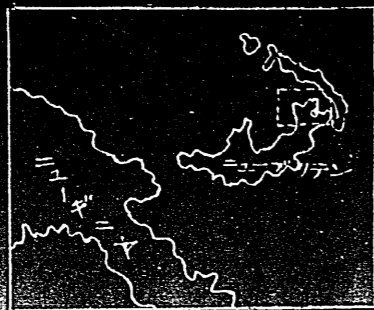
科 目	一日平均 収入高	一月平均 収入高	収入合計	摘 要
珈琲納入金	五〇円	一、五〇〇円	二、五五〇円	本年一月ヨリ十五ヶ月間
南 花 茶 苑	二〇〇円	六、〇〇〇円	一〇、二〇〇円	十七年九月ヨリ十七ヶ月間
下士官兵集会所	一八〇円	五、四〇〇円	五九、四〇〇円	本年五月ヨリ十一月間
八建工員会館	三〇〇円	九、〇〇〇円	九、〇〇〇円	本年六月ヨリ十月間
水古浦分店	八〇円	二、四〇〇円	一六、八〇〇円	〃 九月ヨリ七月間



差引利益金 三三八七〇円也

科 目	佳美苑「借取園」	雑 收 入	一日平均	一月平均	収入金額	摘 要
			収入高	収入高		
			八〇円	三、四〇〇円	二八、八〇〇円	
		五〇円			七五〇円	十五ヶ月間
合 計					三三九、三五〇円	

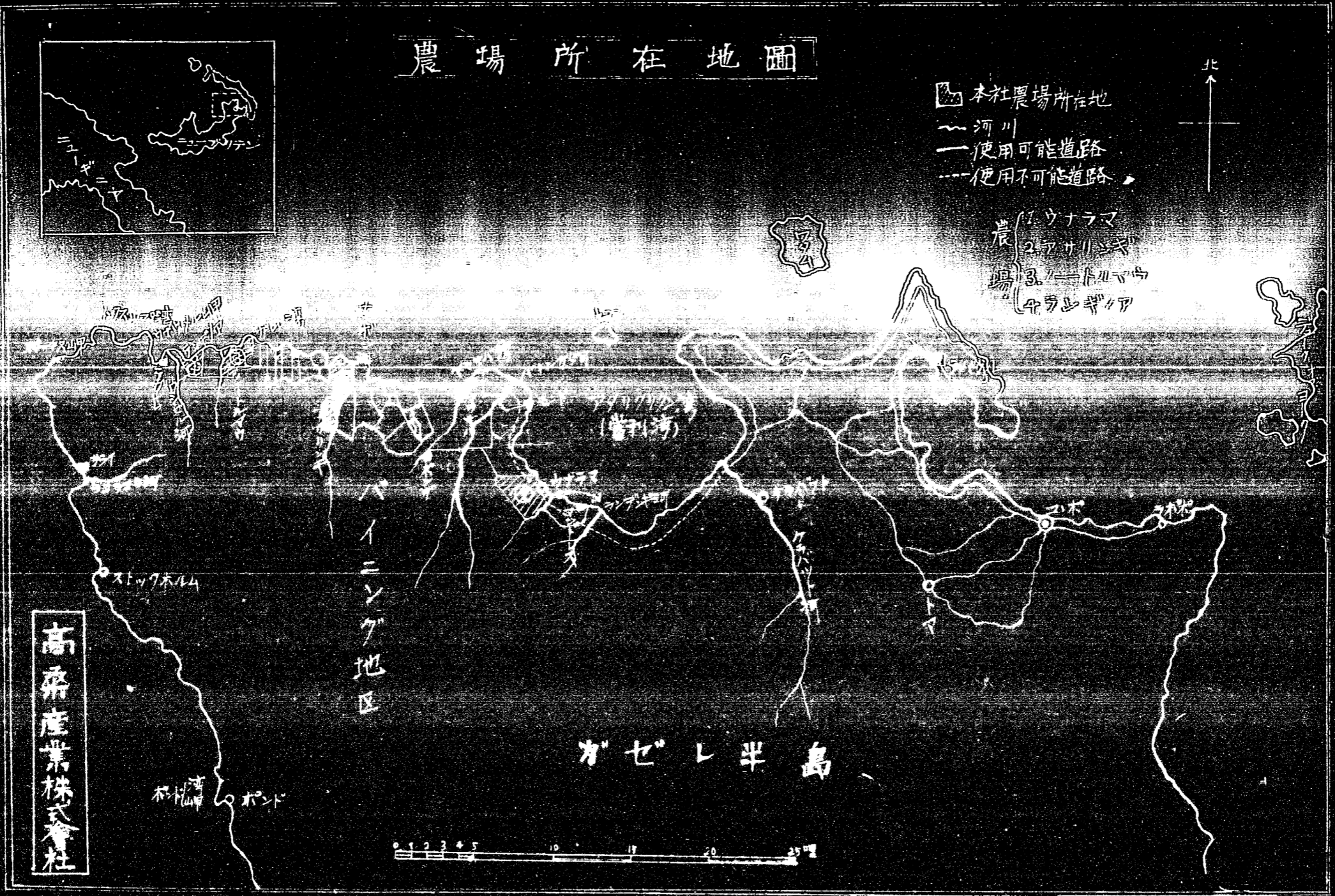
農場所在地圖



- 本社農場所在地
- ~ 河川
- 使用可能道路
- - - 使用不可能道路

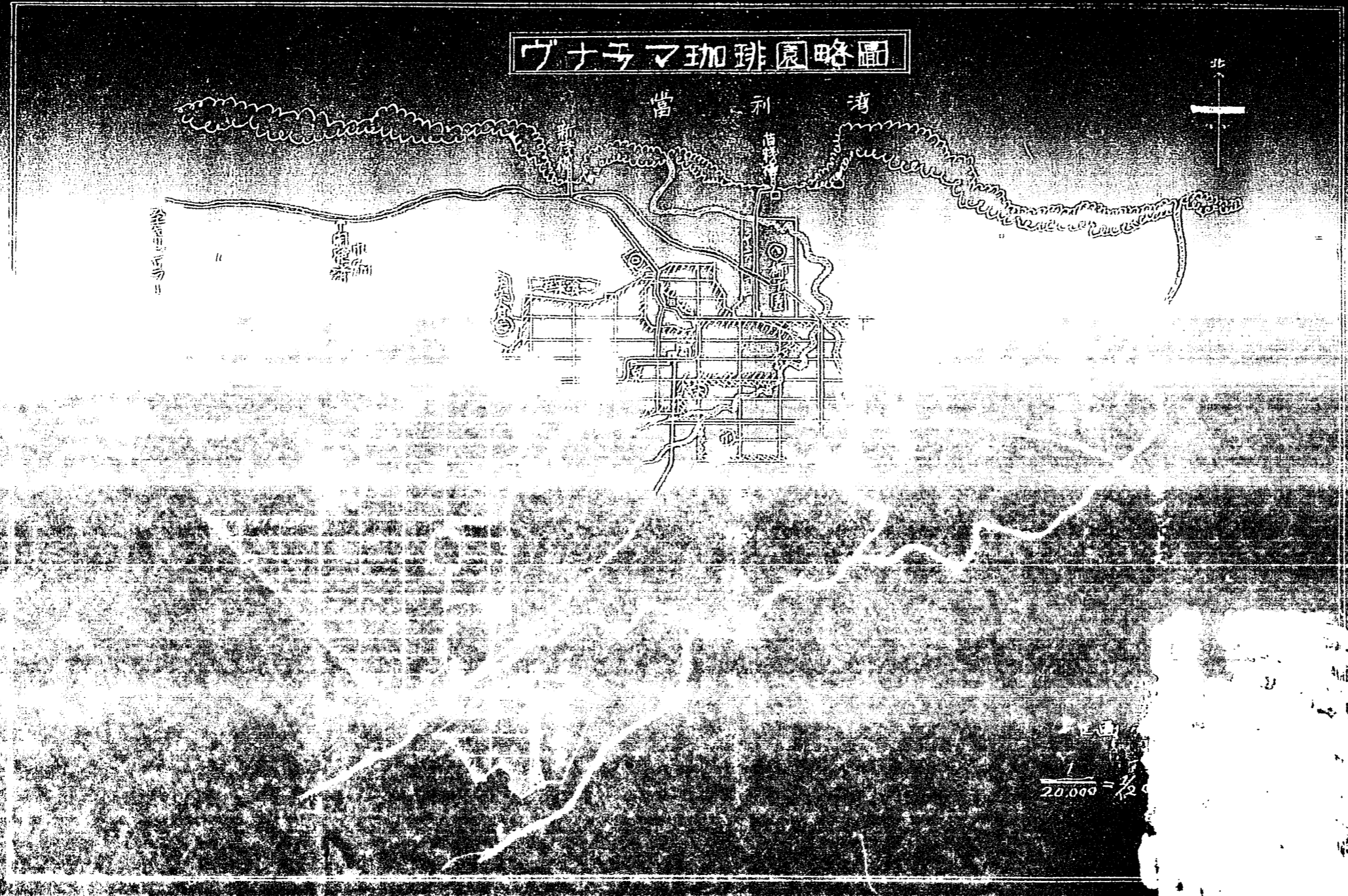


- 農場
1. ユナラマ
 2. アサリ
 3. トルマ
 4. シヤ



高森産業株式会社

グナマ珈琲園略圖



當利湾

北

全長1500ヤ

田舎

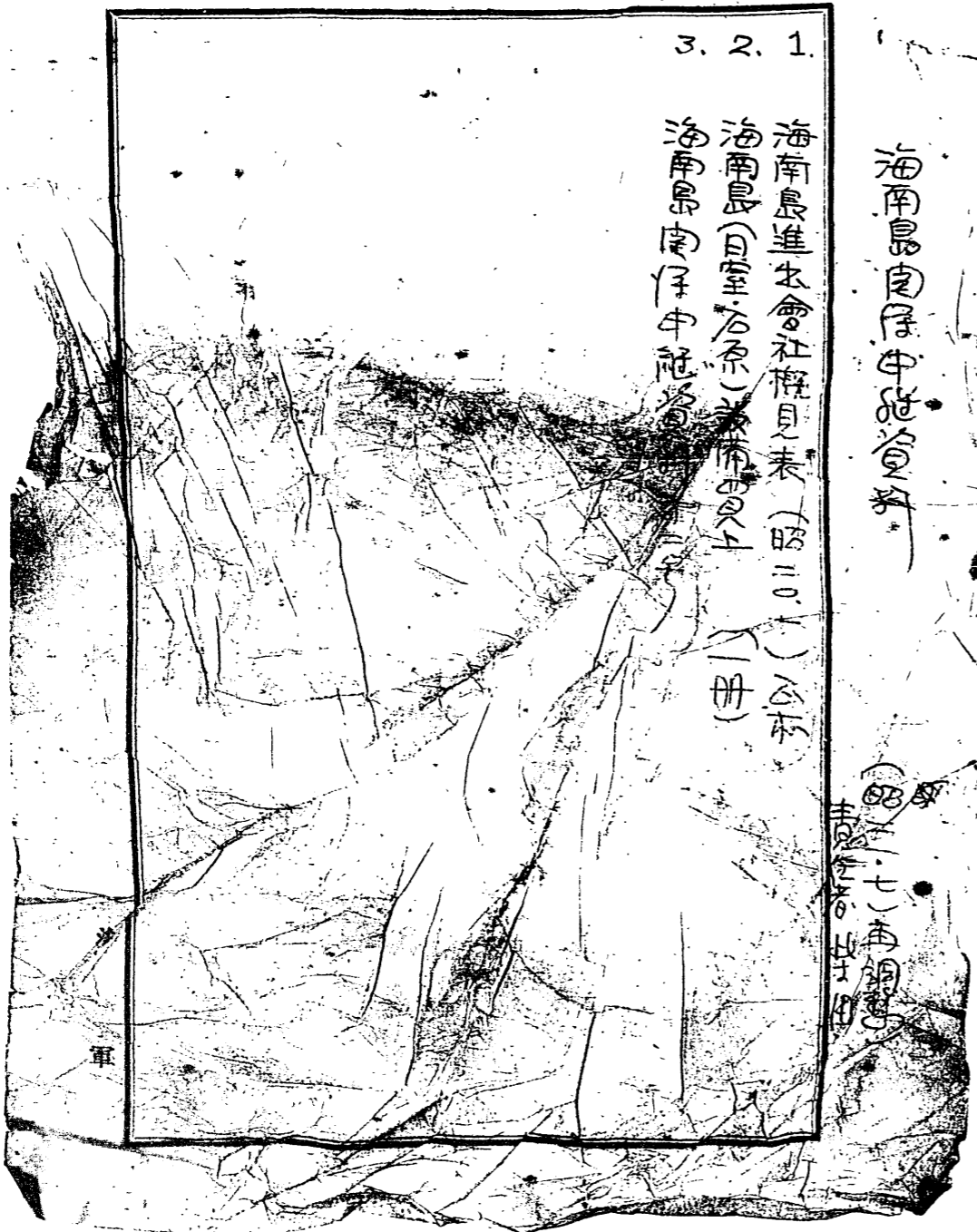
1/20,000 = 後

海 I
1
11

引『海軍省（南方政務部）ヨリノ
 継書類』

海-0012

0393



1. 海南島進出會社概見表 (昭二〇一) (二冊)
2. 海南島(四重谷系) 海南島(二冊)
3. 海南島内陸中絶資料

海南島内陸中絶資料

昭和二十一年七月再調整
保管責任 柴田

1. 内地融資幹施関係 (其二) (其三)
2. 給與統制関係
3. 南方事業經理関係
4. 為替送金関係
5. 保険関係
6. 台銀本拠所(厦)関係
日銀代理店(厦)関係
7. 投下資本金調
8. 現状申告書関係 (南政方面海軍民政府)
9. ニューブリテン資料
10. ニューブリテン企業整理関係
11. (オニエ)神戸港頭疎通及滞貨資材貯用関係
マカサレ地区終戦右状況報告書(各会社別)
12. 資源南洋進捗状況調 (昭一九五) (三冊)
13. 資源南洋進捗状況調

海軍

海軍

(其一)
海軍省(南政務部)ヨリ引継書類
昭和二十一年七月再調整
保管責任 柴田